本文 8628 号

# 官報

第八千六百二十八號　明治四十五年三月二十七日　水曜日　印刷局

## ○制令

朝鮮總督府裁判所令中改正ノ件明治四十四年法律第三十號第一條及第二條ニ依リ勅裁ヲ得テ玆ニ之ヲ公布ス

明治四十五年三月十八日

朝鮮總督　伯爵寺內正毅

制令第四號

朝鮮總督府裁判所令中左ノ通改正ス

第二條第一項ヲ左ノ如ク改ム

朝鮮總督府裁判所ヲ分チテ地方法院、覆審法院及高等法院トス

第三條　地方法院ハ民事及刑事ニ付第一審裁判ヲ行ヒ且非訟事件ニ關スル事務ヲ取扱フ

覆審法院ハ地方法院ノ裁判ニ對スル控訴及抗告、高等法院ハ覆審法院ノ裁判ニ對スル上告及抗告ニ付裁判ヲ行フ

高等法院ハ前項ノ外裁判所構成法ニ定メタル大審院ノ特別權限ニ屬スル職務ヲ行フ

第四條　地方法院ハ判事單獨ニテ裁判ヲ爲ス但シ左ニ揭ケル事件ニ付テハ三人ノ判事ヲ以テ組織シタル部ニ於テ合議ヒテ裁判ヲ爲ス

一　訴訟物ノ價額千圓ヲ超過スル民事事件

二　人事訴訟事件

三　破產事件

四　刑法第七十四條及第七十六條ノ犯罪事件

五　死刑、無期又ハ短期一年以上ノ懲役若ハ禁錮ニ該ル犯罪事件

六　前二號ノ共犯事件但シ前二號ノ事件ト同時ニ審判スル場合ニ限ル

覆審法院ハ三人ノ判事、高等法院ハ五人ノ判事ヲ以テ組織シタル部ニ於テ合議シテ裁判ヲ爲ス

高等法院ノ或部ニ於テ上告ヲ審問シタル後從來ノ判決例ニ異ナリタル意見ヲ有スルトキハ其ノ部ハ之ヲ高等法院長ニ報告シ高等法院長ハ各部ヲ聯合シテ更ニ之ヲ審問シ及其ノ裁判ヲ爲サシム此ノ場合ニ於テハ判事ノ三分ノ二以上列席スルコトヲ要ス

第五條　朝鮮總督ハ地方法院ノ事務ノ一部ヲ取扱ハシムル爲地方法院ノ支廳ヲ設置スルコトヲ得

第六條　朝鮮總督ハ地方法院ノ判事ノ一人又ハ數人ニ刑事ノ豫審ヲ爲スコトヲ命ス

第七條　第三條第三項ノ場合ニ於テハ高等法院長ハ各別ノ事件ニ付其ノ院ノ判事又ハ下級裁判所ノ判事ニ豫審ヲ爲スコトヲ命ス

第八條　朝鮮總督ハ特別ノ必要アリト認ムルトキハ一ノ地方法院ニ屬スル刑事訴訟事件ヲ他ノ地方法院ヲシテ取扱ハシムルコトヲ得

第九條第一項ヲ左ノ如ク改ム

朝鮮總督府裁判所ニ檢事局ヲ竝置ス地方法院支廳ヲ設置シタルトキハ其ノ支廳ニ檢事分局ヲ竝置ス

第十三條　覆審法院ニ覆審法院長ヲ置ク

覆審法院長ハ朝鮮總督ノ指揮監督ヲ承ケ其ノ院ノ行政事務ヲ掌理シ管轄區域內地方法院ノ行政事務ヲ指揮監督ス

第十四條　地方法院ニ地方法院長ヲ置ク

地方法院長ハ其ノ院ノ行政事務ヲ掌理ス

第十五條第一項ヲ左ノ如ク改ム

地方法院支廳ノ判事ハ地方法院長ノ命ヲ承ケ其ノ支廳ノ行政事務ヲ掌ル

第十六條中「控訴院及地方裁判所ヲ」「覆審法院及地方法院」ニ改ム

第十八條　覆審法院檢事局ニ覆審法院檢事長ヲ置ク

覆審法院檢事長ハ其ノ局ノ事務ヲ掌理シ管轄區域內地方法院檢事局ヲ指揮監督ス

第十九條　地方法院檢事局ニ地方法院檢事正ヲ置ク

地方法院檢事正ハ其ノ局ノ事務ヲ掌理ス

第二十條第一項ヲ左ノ如ク改ム

地方法院支廳ノ檢事ハ地方法院檢事正ノ命ヲ承ケ其ノ支廳檢事分局ノ事務ヲ掌ル

第二十一條中「控訴院ヲ」「覆審法院」ニ改ム

第二十六條中「區裁判所ヲ」「地方法院支廳ノ」ニ改ム

附　則

本令ハ明治四十五年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行前區裁判所又ハ地方裁判所ニ於テ第一審トシテ受理シタル訴訟事件及非訟事件ハ現在ノ儘其ノ所在地ヲ管轄スル地方法院ニ、地方裁判所ニ於テ第二審トシテ受理シタル訴訟事件及非訟事件ハ現在ノ儘其ノ所在地ヲ管轄ス

ル覆審法院ニ移ルモノトシ既ニ爲シタル裁判ハ第一審又ハ第二審ノ區別ニ從ヒ地方法院又ハ覆審法院之ヲ爲シタルモノト看做ス

本令施行前控訴院ニ於テ受理シタル訴訟事件及非訟事件ハ現在ノ儘其ノ所在地ヲ管轄スル覆審法院ニ移ルモノトシ既ニ爲シタル裁判ハ覆審法院之ヲ爲シタルモノト看做ス

辯護士規則中改正ノ件明治四十四年法律第三十號第一條及第二條ニ依リ勅裁ヲ得テ玆ニ之ヲ公布ス

明治四十五年三月十八日　朝鮮總督　伯爵寺內正毅

制令第五號

辯護士規則中左ノ通改正ス

「地方裁判所」ヲ「地方法院」ニ改ム

第一條第一項第三號中朝鮮人ニシテ及第二項中朝鮮人ニシテ禁獄若ハ」ヲ削ル

第七條第五號中「朝鮮人ニシテ禁獄又ハ」ヲ削ル

第十一條中「管內ノ區裁判所」ヲ「支廳」ニ改ム

附　則

本令ハ明治四十五年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

訴訟代理業者ニ關スル件中改正ノ件明治四十四年法律第三十號第一條及第二條ニ依リ勅裁ヲ得テ玆ニ之ヲ公布ス

明治四十五年三月十八日　朝鮮總督　伯爵寺內正毅

制令第六號

明治四十四年制令第八號第一條中「地方裁判所及其ノ管內區裁判所ヲ」「地方法院」ニ改ム

附　則

本令ハ明治四十五年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

朝鮮民事令明治四十四年法律第三十號第一條及第二條ニ依リ勅裁ヲ得テ玆ニ之ヲ公布ス

明治四十五年三月十八日　朝鮮總督　伯爵寺內正毅

制令第七號

朝鮮民事令

第一條　民事ニ關スル事項ハ本令其ノ他ノ法令ニ特別ノ規定アル場合ヲ除ク外左ノ法律ニ依ル

一　民法

二　明治三十五年法律第五十號

三　明治三十七年法律第十七號

四　明治三十二年法律第四十號

五　明治三十三年法律第五十一號

六　明治三十三年法律第十三號

七　民法施行法

八　商法

九　明治三十三年法律第十七號

十　商法施行法

十一　明治二十三年法律第三十二號

十二　商法施行條例

十三　民事訴訟法

十四　外國裁判所ノ囑託ニ因ル共助法

十五　明治三十二年法律第五十號

十六　家資分散法

十七　人事訴訟手續法

十八　非訟事件手續法

十九　民事訴訟費用法

二十　商事非訟事件印紙法

二十一　執達吏手數料規則

二十二　供託法

二十三　競賣法

第二條　前條ノ法律中勅令ニ委任シタル事項ハ朝鮮總督府令ヲ以テ之ヲ定ム

第三條　第一條ノ法律中主務官廳ニ屬スル職務ハ民事訴訟法第百五十二條ノ場合ヲ除クノ外朝鮮總督ニ於テ訴訟代理人ヲ爲スヲ得ス

第四條　第一條ノ法律中公證人及執達吏ニ屬スル職務ハ裁判所書記之ヲ行フ裁判所及檢事局ノ長ハ警察官吏其ノ他適當ト認ムル者ヲシテ執達吏ノ職務ヲ行ハシムルコトヲ得

第五條　執達吏ノ職務ヲ行フ者ハ執達吏規則第二條及第三條ノ事務モ亦之ヲ取扱フ

第六條　執達吏ノ職務ヲ行フ者ハ第一條ノ法律ノ適用ニ付テハ之ヲ執達吏ト看做ス但シ國庫ヨリ俸給又ハ給料ヲ受クル者カ執達吏ノ職務ヲ行フ場合ニ於テハ其ノ受クヘキ手數料及旅費ハ國庫ノ收入トス

第七條　執達吏ノ職務ヲ行フ裁判所書記、警察官吏又ハ警察事務ヲ取扱フ官吏ハ書類ノ送達ニ限リ所屬廳ノ吏員ヲシテ臨時其ノ事務ヲ代理セシムルコトヲ得

官吏ニ非スシテ執達吏ノ職務ヲ行フコトヲ命セラレタル者ハ裁判所及檢事局ノ長ノ認可ヲ得テ代理者ヲ置クコトヲ得



第八條　第一條ノ法律ノ適用ニ付テハ府縣ハ道ニ、郡ハ郡ニ、市ハ府ニ、町村ハ府外ニ在ル面又ハ之ニ準スルモノニ該當ス

第九條　第一條ノ法律中官報ニ掲載シテ爲スヘキ公告ハ朝鮮總督府官報ニ掲載シテ之ヲ爲ス

第十條　朝鮮人相互間ノ法律行爲ニ付テハ法令中公ノ秩序ニ關セサル規定ニ異リタル慣習アル場合ニ於テハ其ノ慣習ニ依ル

第十一條　第一條ノ法律中能力、親族及相續ニ關スル規定ハ朝鮮人ニ之ヲ適用セス

朝鮮人ニ關スル前項ノ事項ニ付テハ慣習ニ依ル

第十二條　不動產ニ關スル物權ノ種類及效力ニ付テハ第一條ノ法律ニ定メタル物權ヲ除クノ外慣習ニ依ル

第十三條　不動產ニ關スル物權ノ得喪及變更ニ付朝鮮不動產登記令又ハ朝鮮不動產證明令ニ於テ登記又ハ證明ノ規定ヲ設ケタルモノハ其ノ登記又ハ證明ヲ受クルニ非サレハ之ヲ以テ第三者ニ對抗スルコトヲ得ス

第十四條　朝鮮不動產證明令ニ依リ證明ヲ受ケタル典當權ハ第一條ノ法律ノ適用ニ付テハ其ノ性質ニ從ヒ之ヲ不動產質權又ハ抵當權ト看做ス朝鮮不動產登記令ニ依リ不動產質權又ハ抵當權トシテ登記ヲ受ケタルモノ亦同シ

第十五條　民法第四十九條ノ規定ハ朝鮮外ニ住所ヲ有スル法人カ朝鮮ニ事務所ヲ設クル場合ニ之ヲ準用ス

第十六條　地方法院ニ於テ合議シテ裁判ヲ爲スヘキ事件ニ付テハ第一條ノ法律中其ノ事件ニ付定メタル地方裁判所ノ裁判手續ニ關スル規定ヲ準用シ其ノ他ノ事件ニ付テハ區裁判所ノ裁判手續ニ關スル規定及非訟事件手續法中地方裁判所ニ關スル規定ヲ準用ス

前項ノ外區裁判所又ハ地方裁判所ニ關スル規定ハ之ヲ地方法院ニ、區裁判所判事ニ關スル規定ハ之ヲ地方法院判事ニ準用ス

第十七條　地方法院判事ハ事件カ朝鮮總督府裁判所令第四條第一項但書ニ該當スト認ムルトキハ決定ヲ以テ其ノ事件ヲ合議部ニ移付スヘシ

第十八條　第一條ノ法律ノ適用ニ付管轄裁判所ノ指定ヲ必要トスル場合ニ於テハ關係アル各裁判所ヲ併セテ管轄スル直近上級ノ裁判所指定ノ裁判ヲ爲ス

第十九條　檢事ハ民事事件ニ付必要ト認ムルトキハ裁判所ノ通知ヲ求メ意見ヲ述フルコトヲ得

第二十條　裁判所又ハ裁判長カ職權ヲ以テ訴訟代理人又ハ訴訟ノ承繼人ヲ選定スヘキ場合ニ於テハ辯護士ニ非サル者ヲ以テ之ニ充ツルコトヲ得

第二十一條　當事者ハ辯護士ノ在ルトキト雖裁判所ノ許可ヲ得テ訴訟能力者ヲ訴訟代理人ト爲スコトヲ得

裁判所ハ何時ニテモ前項ノ許可ヲ取消スコトヲ得

第二十二條　假住所ニ於テスル送達ハ之ヲ受クヘキ人ニ出會ハサルトキハ成長シタル假住所ノ主人其ノ同居ノ親族又ハ雇人ニ之ヲ爲スコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ送達ヲ受クヘキ者在ラサルトキハ假住所選定ノ屆出ナキモノト看做ス

第二十三條　民事訴訟法第百四十五條第二項ノ規定ニ依リ市町村長ニ書類ヲ預置クヘキ場合ニ於テハ送達ヲ爲スヘキ地ヲ管轄スル警察事務ヲ取扱フ官署ノ巡査駐在所ヲ含ム）ノ長ニ之ヲ預置クヘシ

第二十四條　裁判所書記其ノ廳內ニ於テ送達ヲ受クヘキ者ニ書類ヲ交付シ受取證ヲ徵シタルトキハ送達ヲ爲シタルト同一ノ效力ヲ有ス

第二十五條　公示送達ハ裁判所職權ヲ以テ之ヲ命スルコトヲ得

第二十六條　訴訟關係人カ裁判長ノ定メタル期日ニ出頭スヘキ旨ヲ記載シタル書面ヲ差出シタルトキハ期日呼出ヲ爲シタルト同一ノ效力ヲ生ス

第二十七條　裁判所又ハ裁判長ハ職權ヲ以テ期間ヲ相當ニ伸長スルコトヲ得但シ不變期間ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第二十八條　期日ノ變更又ハ期間ノ伸長ハ當事者合意ノ場合ニ於テモ相當ノ理由アルニ非サレハ之ヲ許サス

第二十九條　口頭辯論期日ニ當事者雙方出頭セサルトキハ裁判長ハ更ニ期日ヲ定メ當事者雙方ヲ呼出スヘシ

天災其ノ他避クヘカラサル事變ニ因ル場合ヲ除クノ外前項ノ新期日ニ當事者雙方出頭セサルトキハ本訴及反訴ハ之ヲ取下ケタルモノト看做ス

第三十條　訴訟手續休止ノ合意ハ書面ヲ以テ之ヲ裁判所ニ屆出ツヘシ

前項屆出ノ日ヨリ三月內ニ當事者ノ一方ヨリ口頭辯論期日ノ指定ノ申立ヲ爲ササルトキハ本訴及反訴ハ之ヲ取下ケタルモノト看做ス其ノ申立ヲ爲シタルトキト雖期日前重ネテ休止ヲ爲シ其ノ期間前後ヲ通算シテ三月ヲ超ユルトキ亦同シ

第三十一條　事件ノ移送又ハ差戻ノ判決確定シタルトキハ其ノ言渡ヲ爲シタル裁判所ハ速ニ訴訟記錄ヲ移送又ハ差戻ヲ受ケタル裁判所ニ送付スヘシ

前項ノ場合ニ於テ事件ノ移送又ハ差戻ヲ受ケタル裁判所ノ裁判長ハ職權ヲ以テ口頭辯論期日ヲ定メ當事者ヲ呼出スコトヲ得

第三十二條　裁判所ノ構成法第百四條乃至第百十三條ノ規定ニ依ル

第三十三條　裁判長ハ必要ト認ムルトキハ訴訟關係人ニ對シ訴訟行爲ニ付注意ヲ爲スコトヲ得

第三十四條　裁判所ハ闕席判決ノ申立アリタルトキト雖職權ヲ以テ辯論ヲ延期スルコトヲ得

第三十五條　再度ノ闕席判決ニ對シテハ故障ヲ申立ツルコトヲ得

第三十六條　判決ハ職權ヲ以テ之ヲ送達スルコトヲ得

前項ノ送達ハ判決ノ正本ノ交付ヲ以テ之ヲ爲ス

第三十七條　闕席判決ヲ受ケタル當事者ニ送達スヘキ判決正本ニハ故障ヲ申立ツルコトヲ得サル場合ヲ除クノ外其ノ判決ニ對シ故障ノ申立ヲ爲シ得ヘキコト及其ノ期間ヲ附記スヘシ





許可 8628 号 大正

前項ノ附記ナキトキハ更ニ其ノ通知アル迄故障期間ノ進行ヲ停止ス

第三十八條　證據調ノ申請及其ノ決定ハ口頭辯論期日前ト雖之ヲ爲スコトヲ得

第三十九條　證據決定中一部ノ證據調ニ依リ結果ヲ得タルトキハ他ノ證據調ヲ省略スル決定ヲ爲スコトヲ得

第四十條　受命判事又ハ受託判事檢證ヲ爲ス場合ニ於テハ申立ニ因リ又ハ職權ヲ以テ裁判所ノ決定ヲ待タスシテ檢證事項ニ關シ證人ヲ訊問シ又ハ鑑定ヲ命スルコトヲ得

第四十一條　民事訴訟法第二百九十六條第一項ノ規定ハ之ヲ王族ニ、第二項ノ規定ハ之ヲ朝鮮總督ニ準用ス

第四十二條　裁判所ハ職權ヲ以テ民事訴訟法第三百五十一條ノ中間判決又ハ同法第三百五十二條ノ檢眞ヲ爲スコトヲ得

第四十三條　當事者ノ提出シタル許スヘキ證據ヲ調ヘタル結果ニ因リ證スヘキ事實ノ眞否ニ付裁判所カ心證ヲ得ルニ足ラサルトキハ職權ヲ以テ證人訊問ヲ爲スコトヲ得

第四十四條　職權ヲ以テ爲ス證據調ノ費用ハ國庫ニ於テ之ヲ立替フルコトヲ得

職權ヲ以テ爲シタル證據調ノ費用ノ全部又ハ一部ハ之ヲ國庫ノ負擔ト爲スコトヲ得

第四十五條　職權ヲ以テ爲シタル證據調ノ費用ヲ當事者ノ負擔ニ歸セシムヘキ場合ニ於テハ裁判所ハ判決ヲ以テ其ノ負擔者及金額ヲ定ムヘシ若訴又ハ上訴ノ取下アリタルトキハ決定ヲ以テ其ノ裁判ヲ爲スヘシ

前項ノ決定ニ對シテハ卽時抗告ヲ爲スコトヲ得

第一項ノ規定ハ職權ヲ以テ爲シタル證據調ノ費用ヲ國庫ノ負擔ト爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第四十六條　控訴ノ提起ハ控訴狀ヲ原裁判所ニ差出シテ之ヲ爲ス

第四十七條　判然許スヘカラサル控訴又ハ判然法律上ノ方式ニ適セス若ハ期間ノ經過後ニ起シタル控訴ハ原裁判所決定ヲ以テ之ヲ却下スヘシ此ノ決定ニ對シテハ卽時抗告ヲ爲スコトヲ得

第四十八條　控訴ノ提起アリタルトキハ原裁判所ノ前條ノ規定ニ依リ控訴ヲ却下シタル場合ヲ除クノ外速ニ控訴狀ト共ニ訴訟記錄ヲ控訴裁判所ニ送付スヘシ前條ノ卽時抗告ニ付民事訴訟法第四百六十四條第一項ノ裁判ノ通知アリタルトキ亦同シ

第四十九條　控訴裁判所ハ民事訴訟法第四百二十二條ノ場合ニ於テ當事者合意ノ申立アルトキハ直ニ第二審トシテ本案ノ辯論及判決ヲ爲スコトヲ得

第五十條　民事訴訟法第四百六十五條第三項ノ適用ニ付テハ大審院ハ高等法院ニ該當ス

第五十一條　第四十六條乃至第四十八條ノ規定ハ上告ニ之ヲ準用ス

第五十二條　上告完結ノ後其ノ記錄ハ上告審ニ於テ爲シタル判決ノ認證アル謄本ト共ニ直ニ之ヲ第一審裁判所ニ返還スヘシ

前項ノ場合ニ於テハ原裁判所ニ證證アル謄本ヲ送付スヘシ

第五十三條　民事訴訟法第三百二條乃至第三百五條及第五編ノ規定ハ之ヲ適用セス

第五十四條　民事訴訟法第五百二條各號ノ場合ニ於テハ裁判所ハ職權ヲ以テ假執行ノ宣言ヲ爲スコトヲ得

第五十五條　民事訴訟法第六百四十三條第一項第二號ノ證書ハ左ノ書面ノ一ヲ以テ之ニ充ツ

一　不動產證明簿ニ債務者ノ所有トシテ記載シアル不動產ニ付テハ證明官吏ノ證證シタル證明簿ノ抄本

二　不動產證明簿ニ記載シアラサル不動產ニ付テハ府尹又ハ郡守ニ於テ債務者ノ所有ヌルコトヲ證明シタル書面

同條第一項第三號及第四號ノ證書ハ左ノ書面ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得

一　土地ニ付テハ府尹又ハ郡守ニ於テ其ノ所在地名、地番號（字號、四標等）、種目、面積（段別坪數又ハ斗落ト數等）、價額及其ノ土地ニ付納ムヘキ一年ノ公課ヲ證明シタル書面

二　建物ニ付テハ府尹又ハ郡守ニ於テ其ノ所在地名、數地番號（字號、四標等）戶番號、種類、構造、建坪、價額及其ノ建物ニ付納ムヘキ一年ノ公課ヲ證明シタル書面

前項ノ書面ニハ其ノ土地又ハ建物ノ圖面ヲ添附スヘシ

第五十六條　不動產ニ對スル強制執行ニ付テハ不動產證明簿ニ記載シアル典當權者ハ之ヲ登記簿ニ記入アル不動產上權利者ト看做ス

第五十七條　民事訴訟法第六百五十一條乃至第六百五十三條、第六百五十五條第六百八十九條第一項第六百九十條、第七百條、第七百六條、第七百十六條第四項、第七百五十一條及第七百五十八條第三項ノ適用ニ付テハ不動產證明簿ハ登記簿ニ、證明官吏ハ登記判事ニ準ス

第五十八條　執達吏ノ職務ヲ行フ者必要ト認ムルトキハ利害關係人ノ申立ナシト雖モ競賣ハニ對シ民事訴訟法第六百六十四條ノ保證ヲ立ツヘキコトヲ命スルコトヲ得

第五十九條　民事訴訟法第六百八十八條第五項ノ規定ニ依リ前競落人ノ負擔ニ歸シタル金額ハ同法第六百六十四條又ハ前條ノ規定ニ依リ預リタル保證金又ハ有價證券ノ賣却代金ノ中ヨリ之ヲ徵收シ不動產ノ賣却代金ニ加フ

前項ノ有價證券ノ賣却ニ付テハ民事訴訟法第五百八十一條乃至第五百八十三條ノ規定ヲ準用ス

第一項ノ規定ニ依リ處分シタル保證金又ハ有價證券ノ賣却代金ノ殘額ハ保證ヲ立テタル者ニ之ヲ返還スヘシ





第六十條　前二條ノ規定ニ依リ爲シタル手續ハ調書ニ記載シテ之ヲ明確ニスヘシ

第六十一條　前三條ノ規定ハ入札拂ノ場合ニ之ヲ準用ス

第六十二條　交通至難ノ地ニ在ル不動產ノ强制競賣ニ付テハ裁判所ハ開始決定ノ送達及民事訴訟法第六百五十一條第一項ノ規定ニ依ル手續ヲ爲シタル後不動產ノ所在地ヲ管轄スル郡守ニ執行記錄ヲ送付シテ其ノ後ノ手續ヲ囑託スルコトヲ得但シ競賣手續ヲ取消ス裁判及配當異議ノ訴ニ對スル裁判ハ此ノ限ニ在ラス

前項ノ囑託アリタル場合ニ於テハ後九條ノ規定ニ依ルノ外通常ノ手續ニ從フ

第六十三條　執行裁判所及配當裁判所ニ屬スル職務ハ郡守之ヲ行フ

第六十四條　郡守ハ民事訴訟法第六百五十三條及第六百五十六條ノ規定ニ依リ競賣手續ヲ取消スヘキモノト認メタルトキハ郡守ニ通知シテ執行記錄ノ送付ヲ求ムヘシ

裁判所配當異議ノ訴ヲ受理シタルトキハ郡守ニ通知シテ執行記錄ノ送付ヲ求ムヘシ

第六十五條　執達吏ノ職務ヲ行フヘキ者ハ郡守其ノ廳ノ吏員中ニ就キ之ヲ命ス

第六十六條　競賣、競落代金支拂及配當ノ期日ハ郡廳ニ於テ之ヲ開ク

第六十七條　競賣期日ノ公告ハ郡廳ノ揭示場及適當ノ場所ニ其他ノ公告ハ郡廳ノ揭示場ニ揭示シテ之ヲ爲ス

第六十八條　民事訴訟法第六百六十八條ノ規定ニ依リ裁判所書記ニ渡スヘキ調書、金錢又ハ有價證券ハ之ヲ郡守ニ渡スヘシ

第六十九條　民事訴訟法第六百六十九條ノ適用ニ付テハ執行裁判所ノ所在地ハ郡廳ノ所在地ニ該當ス

第七十條　民事訴訟法第六百八十條ノ抗告ニ付テハ囑託ヲ爲シタル裁判所ヲ以テ抗告裁判所トス

前項ノ抗告裁判所ノ裁判ニ對スル抗告ニ付テハ覆審法院ヲ以テ終審トス

第七十一條　執行手續ヲ完結シタルトキハ郡守ハ執行記錄ヲ裁判所ニ返還スヘシ

第七十二條　前十七條ノ規定ハ不動產ノ任意競賣及明治二十三年法律第三十二號第千十八條ノ規定ニ依ル競賣ニ之ヲ準用ス

第七十三條　朝鮮人ノ外關係者ナキ人事訴訟ニ付テハ失踪ニ關スル手續ヲ除クノ外通常ノ訴訟手續ニ從フ但シ民事訴訟法第百十一條第二項第三項ノ規定第二百二十九條申請ヲ認諾ニ關スル規定及第三百三十五條乃至第三百四十一條ノ規定竝裁判上ノ自白ニ關スル規定ハ之ヲ適用セス

前項ノ訴訟ニ付テハ裁判所ハ當事者ノ提出セサル事實ト雖之ヲ酌酌スルコトヲ得

第七十四條　檢事ハ前條ノ訴訟ニ付事實及證據方法ヲ提出スルコトヲ得

第七十五條　非訟事件手續法中外國會社及外國法人ノ登記ニ關スル規定ハ朝鮮外ニ住所ヲ有スル會社其ノ他ノ法人カ朝鮮ニ支店又ハ事務所ヲ設ケタル場合ニ之ヲ準用ス

第七十六條　民事訴訟費用法第十四條ノ規定ハ裁判所ノ通譯官及通譯生カ檢證ノ爲實地臨檢ヲ爲ス場合ニ於ケル旅費及滯在費ニ之ヲ準用ス

附　則

第七十七條　本令ハ明治四十五年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

第七十八條　左ノ法令ハ之ヲ廢止ス

一　統監府裁判所司法事務取扱令

二　明治四十二年勅令第二百三十八號

三　手形條例

四　民刑訴訟規則

五　民事訴訟期限規則

六　民事訴訟費用規則

七　隆熙三年法律第十五號

八　非訟事件手續規則

第七十九條　本令施行前法令ニ依リ爲シタル裁判、命令、處分、手續其ノ他ノ行爲ハ本令ニ依リ爲シタルモノト看做ス

第八十條　本令施行前既ニ著手シタル强制執行ハ舊法ニ從ヒ之ヲ完結ス

第八十一條　本令施行前ニ生シタル事項ニ付テハ朝鮮人ノ外關係者ナキ場合ニ限リ民法施行法及商法施行法中民法及商法ノ施行前ニ生シタル事項ニ關スル規定ヲ準用シ其ノ規定ニ依リ舊法ヲ適用スヘキ場合ニ於テハ朝鮮ニ於ケル從來ノ例ニ依ル

第八十二條　訴訟手續ニ關スル規定中親族ト稱スルハ當分ノ內朝鮮人ニ付テハ四親等內ノ者ヲ謂フ

朝鮮民事訴訟印紙令明治四十四年法律第三十號第一條及第二條ニ依リ勅裁ヲ得テ玆ニ之ヲ公布ス

明治四十五年三月十八日　朝鮮總督　伯爵寺內正毅

制令第八號

朝鮮民事訴訟印紙令

第一條　民事訴訟ノ書類ニハ本令ニ依リ其ノ正本ニ收入印紙ヲ貼用スヘシ但シ裁判所書記ニ口述シテ調書ヲ作ラシメタルトキハ其ノ調書ニ印紙ヲ貼用スヘシ

第二條　財產權上ノ請求ニ係ル訴狀、控訴狀又ハ上告狀ニハ訴訟物ノ價額ニ應シ左ノ區別ニ從ヒ印紙ヲ貼用スヘシ

| | |
|---|---|
| 訴訟物ノ價額五圓迄 | 二十錢 |
| 同十圓迄 | 三十錢 |



許可 8628 号 本文

同二十圓迄　六十錢
同五十圓迄　一圓五十錢
同七十五圓迄　二圓二十錢
同百　圓　同　圓　三　圓
同二百五十圓迄　六圓五十錢
同五百　圓迄　十　圓
同七百五十圓迄　十三　圓
同　千　圓迄　十五　圓
同二千五百圓迄　二十　圓
同五千　圓迄　二十五圓
同五千圓以上ハ千圓ニ達スル迄毎ニ二圓ヲ加フ

訴訟物ノ價額ヲ算定ニ付テハ民事訴訟法第三條乃至第六條ノ規定ニ依ル

第三條　財產權上ノ請求ニ非サル訴訟ニ付テハ其ノ訴訟物ノ價額ヲ百圓ト看做シ前條第一項ノ規定ヲ準用ス

財產權上ノ請求ニ非サル訴訟ト其ノ訴訟ニ依リテ生スル財產權上ノ訴訟ト併合スルトキハ其ノ多額ナル一方ノ訴訟物ノ價額ニ依ル

第四條　本訴ト反訴ト其ノ目的カ同一ノ訴訟物ナルトキハ反訴ノ訴狀ニ印紙ヲ貼用スルコトヲ要セス

第五條　支拂命令ノ申請ニシテ訴訟物ノ價額十圓以下ナル場合ニ於テハ二十錢ノ印紙ヲ、十圓ヲ超過スル場合ニ於テハ第二條ノ規定ニ依リ貼用スヘキ印紙金額ノ半額ノ印紙ヲ貼用スヘシ

第六條　左ニ揭ク申立又ハ申請ニシテ訴訟物ノ價額又ハ請求ノ價額二十圓以下ナル場合ニ於テハ二十錢ノ印紙ヲ貼用ス

一　期日ノ變更、辯論ノ延期又ハ辯論期日ノ指定ノ申立
二　中斷又ハ中止シタル訴訟手續ノ受繼ノ申立
三　從參加ノ申請
四　忌避ノ申請
五　和解ノ申立
六　費用額確定ノ申請
七　假執行宣言ノ申立
八　強制執行ノ停止若ハ續行又ハ執行處分ノ取消ノ申立
九　配當要求
十　家資分散ノ申立又ハ家資分散者ノ復權ノ申立
十一　強制競賣又ハ強制管理ノ申立
十二　債權又ハ他ノ財產權差押ノ申請
十三　民事訴訟法第七百三十二條乃至第七百三十四條ノ申立

第七條　左ニ揭ク申立又ハ申請ニシテ訴訟物ノ價額又ハ請求ノ價額二十圓以下ナル場合ニ於テハ五十錢ノ印紙ヲ、二十圓ヲ超過スル場合ニ於テハ一圓ノ印紙ヲ貼用スヘシ

一　抗告
二　故障
三　證據調ノ申立
四　假差押又ハ假處分ノ申請
五　判決宣達ノ申立
六　執行力アル正本ヲ求ムル申立但シ二通以上ヲ求ムルトキハ一通毎ニ印紙ヲ貼用スヘシ

第八條　和解又ハ督促手續ニ付民事訴訟法第三百八十一條第三項又ハ第三百九十條ノ規定ニ依リ訴カ裁判所ニ繫屬スルトキハ第二條及第三條ノ規定ニ依リ印紙ヲ貼用スヘシ但シ和解ノ申立又ハ支拂命令ノ申請ニ付貼用シタル印紙ノ額ハ之ヲ控除ス

第九條　原狀回復ノ申立ニハ其ノ追完スル訴訟行爲ニ關シ貼用スヘキ印紙ヲ貼用スヘシ

第十條　答辯書其ノ他前數條ニ揭ケサル申立又ハ申請ニハ二十錢ノ印紙ヲ貼用スヘシ

第十一條　民事訴訟法第九十七條第一項第一號ノ場合ヲ除クノ外本令ニ依リ印紙ヲ貼用セサル民事訴訟ノ書類ハ其ノ效ナキモノトス但シ印紙ヲ貼用セス又ハ貼用スルモ不足アルトキハ裁判所ハ相當印紙ヲ貼用セシメ之ヲ有效ナラシムルコトヲ得

第十二條　左ニ揭ク申立又ハ申請ニシテ請求ノ價額二十圓以下ナル場合ニ於テハ五十錢ノ印紙ヲ、二十圓ヲ超過スル場合ニ於テハ一圓ノ印紙ヲ貼用スヘシ

一　裁判上代位ノ申請
二　競賣法ニ依ル競賣ノ申立又ハ之ニ關スル抗告
三　不動產登記又ハ不動產證明ニ關スル抗告

前項ニ規定スルモノヲ除クノ外非訟事件ニ關スル申立又ハ申請ニハ二十錢ノ印紙ヲ貼用スヘシ

第七條及第十一條ノ規定ハ非訟事件ニ之ヲ準用ス但シ申立又ハ申請ニシテ請求ノ價額ナキモノハ請求ノ價額二十圓以下ノモノト看做ス

附　則

本令ハ明治四十五年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

民事訴訟手數料規則ハ之ヲ廢止ス

朝鮮不動產登記令明治四十四年法律第三十號第一條及第二條ニ依リ勅裁ヲ得テ玆ニ之ヲ公布ス

明治四十五年三月十八日

朝鮮總督　伯爵寺內正毅



制令第九號

朝鮮不動產登記令

第一條　不動產ニ關スル權利ノ登記ニ付テハ本令其ノ他ノ法令ニ特別ノ規定アル場合ヲ除クノ外不動產登記法及明治三十九年法律第五十五號ニ依ル典當權ハ前項ノ法律ノ適用ニ付テハ其ノ性質ニ從ヒ之ヲ不動產質權又ハ抵當權ト看做ス

第二條　不動產登記法ノ適用ニ付テハ司法大臣ハ朝鮮總督ニ、地方裁判所ハ覆審法院ニ、地方裁判所長ハ地方法院長ニ、區裁判所又ハ其ノ出張所ハ地方法院又ハ其ノ支廳ニ、府縣ノ道ニ郡ノ郡ニ市ハ府ニ、町村ハ府外ニ在ル面又ハ之ニ準スルモノニ該當ス

第三條　申請書其ノ他ノ附屬書類ハ檢事ノ囑託アリタルトキモ之ヲ登記所外ニ持出スコトヲ得

第四條　送達ニ付テハ朝鮮民事令ノ規定ヲ準用ス

附　則

第五條　本令施行ノ地域及期日ハ朝鮮總督之ヲ定ム

第六條　居留民團及其ノ土地ニ關スル公簿ハ當分ノ內之ヲ土地臺帳所管廳及土地臺帳ト看做ス但シ土地臺帳ノ設備アル地域ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第七條　本令施行前不動產登記法又ハ朝鮮不動產證明令ニ依リ爲シタル登記又ハ證明ハ本令ニ依リ爲シタル登記ト看做ス

不動產登記法ニ依リ設備シタル帳簿及書類ハ本令ニ依リ設備シタルモノト看做ス

第八條　本令施行前證明ヲ爲シタル不動產ニ付登記ヲ爲スヘキトキハ第九條ノ場合ヲ除クノ外登記用紙中登記番號欄ニ其ノ登記簿ニ於ケル登記ノ順序ヲ追ヒテ新タル番號ヲ記載シ其ノ左側ニ證明番號ヲ附記シ表示欄ニ不動產ノ表示ヲ移シ相當區ノ順位番號欄及事項欄ニ證明簿ノ用紙中抹消ニ係ラサル番號及事項ヲ移シ證明簿ノ用紙中新登記簿ノ用紙ニ移シタル番號及事項ヲ朱抹スヘシ

第九條　本令施行前證明ヲ爲シタル不動產ニ付滅失又ハ抹消ノ登記ヲ爲スヘキトキハ從前ノ例ニ依リ證明簿ニ滅失又ハ抹消ノ記入ヲ爲スヘシ

民事爭訟調停ニ關スル件中改正ノ件明治四十四年法律第三十號第一條及第二條ニ依リ勅裁ヲ得テ玆ニ之ヲ公布ス

明治四十五年三月十八日

朝鮮總督　伯爵寺內正毅

制令第十號

明治四十三年制令第十一號中左ノ通改正ス

第一條　警察署長又ハ其ノ職務ヲ取扱フ者ハ當事者ノ申請ニ因リ其ノ管轄區域內ニ於ケル左ニ揭ケタル民事爭訟ニ付調停ヲ爲スコトヲ得但シ地方法院又ハ其ノ支廳所在地ノ警察署長又ハ其ノ職務ヲ取扱フ者ハ此ノ限ニ在ラス

一　二百圓ヲ超過セサル金額又ハ價額二百圓ヲ超過セサル物ニ關スル爭訟
二　價額ニ拘ハラス左ノ爭訟
（イ）賃貸人ト賃借人トノ間ニ住家其ノ他ノ建物又ハ其ノ或部分ノ受取、明渡、使用、占據若ハ修繕ニ關シ又ハ賃借人ノ家具若ハ所持品ヲ賃貸人ノ差押ヘタルコトニ關シ起リタル爭訟
（ロ）不動產ノ疆界ノミニ關スル爭訟
（ハ）占有ノミニ關スル爭訟
（ニ）雇主ト雇人トノ間ニ雇期限一年以下ノ契約ニ關シ起リタル爭訟
（ホ）左ノ事項ニ付旅人ト旅店若ハ飮食店ノ主人トノ間ニ又ハ旅人ト水陸運送人トノ間ニ起リタル爭訟
（一）賄料、宿料又ハ旅人若ハ手荷物ノ運送料
（二）旅人ヨリ旅店若ハ飮食店ノ主人又ハ運送人ニ保護ノ爲領ケタル手荷物、金錢又ハ有價物

第三條中「地方裁判所長」ヲ「地方法院長」ニ改ム

附　則

本令ハ明治四十五年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

朝鮮刑事令明治四十四年法律第三十號第一條及第二條ニ依リ勅裁ヲ得テ玆ニ之ヲ公布ス

明治四十五年三月十八日

朝鮮總督　伯爵寺內正毅

制令第十一號

朝鮮刑事令

第一條　刑事ニ關スル事項ハ本令其ノ他ノ法令ニ特別ノ規定アル場合ヲ除クノ外左ノ法律ニ依ル

一　刑法施行法
二　爆發物取締罰則
三　明治二十二年法律第三十四號
四　通貨及證券模造取締法
五　明治三十八年法律第六十六號
六　印紙犯罪處罰法
七　明治二十三年法律第百一號
八　海底電信線保護萬國聯合條約罰則
九　刑事訴訟法
十　普通治罪法陸軍治罪法海軍治罪法交涉ノ件處分法
十一　外國裁判所ノ囑託ニ因ル共助法
十二　前條ノ法律中大審院ノ職務ハ高等法院大審院長ノ職務ハ高等法院長檢事總長ノ職務ハ高等法院檢事長檢事長ノ職務ハ覆審法院檢事長地方裁判所檢事及區裁判所檢事ノ職務ハ地方法院檢事之ヲ行フ



許可 8628 号 大正

第三條　刑法第七十五條及第七十六條竝刑事訴訟法第二十八條第三項及第百三十一條第一項ノ規定ハ之ヲ王族ニ準用ス

第四條　朝鮮總督府警務總長ハ司法警察官トシテ犯罪ヲ捜査スルニ付地方法院檢事ト同一ノ職權ヲ有ス

第五條　左ニ記載シタル官吏ハ檢事ノ補佐トシテ其ノ指揮ヲ受ケ司法警察官トシテ犯罪ヲ捜査スヘシ

一　朝鮮總督府警務部長

二　朝鮮總督府警視、警部

三　憲兵將校、准士官、下士

前項ノ司法警察官ハ檢事ノ職務上發シタル命令ニ從フ

第六條　裁判所ハ被告人カ其ノ裁判所ノ管轄區域内ニ在ラサルトキハ決定ヲ以テ事件ヲ被告人ノ所在地ヲ管轄スル同等ノ裁判所ニ移送スルコトヲ得

第七條　官吏、公吏ノ作リタル書類ニシテ形式ニ瑕疵アルモノハ當該官吏、公吏之ヲ補正スルコトヲ得

前項ノ補正ヲ爲シタルトキハ其ノ年月日、場所及補正ノ事項ヲ附記シテ署名捺印スヘシ

第八條　書類ノ送達ニ付テハ本令ニ規定アルモノノ外朝鮮民事令ヲ準用ス

第九條　訴訟關係人ヨリ期日ニ出頭スヘキ受書ヲ差出サシメ又ハ口頭ヲ以テ次回ノ出頭ヲ命シタルトキハ召喚狀又ハ呼出狀ヲ送達シタルト同一ノ效力ヲ生ス但シ口頭ヲ以テ出頭ヲ命シタル場合ニ於テハ其ノ旨ヲ調書又ハ公判始末書ニ記載スヘシ

第十條　刑事訴訟法ニ依リ市町村長ノ立會ヲ要スル場合ニ於テハ二人以上ノ相當ノ立會人アルヲ以テ足ル

第十一條　檢事又ハ司法警察官ハ刑事訴訟法第百四十四條、第百四十六條又ハ第百四十七條ノ場合ニ於テ犯所ニ臨檢スル必要アリト認ムルトキハ臨檢ヲ爲サシテ豫審判事ニ屬スル處分ヲ爲スコトヲ得

第十二條　檢事ハ現行犯ニ非サル事件ト雖捜査ノ結果急速ノ處分ヲ要スルモノト思料スルトキハ公訴提起前ニ限リ令狀ヲ發シ檢證、捜索、物件差押ヲ爲シ被告人ヲ訊問シ又ハ鑑定ヲ命スルコトヲ得但シ罰金、科料若ハ費用賠償ノ言渡ヲ爲シ又ハ宣誓ヲ爲サシムルコトヲ得ス

前項ノ規定ニ依リ檢事ニ許シタル職務ハ司法警察官モ亦假ニ之ヲ行フコトヲ得但シ勾留狀ヲ發スルコトヲ得ス

第十三條　司法警察官前條第二項ノ規定ニ依リ被告人ヲ訊問セタル後禁錮以上ノ刑ニ該ルヘキ者ト思料スルトキハ十四日ヲ超エサル期間之ヲ留置スルコトヲ得

司法警察官ハ前項ノ留置期間内ニ證憑書類及意見書ト共ニ被告人ヲ管轄裁判所ノ檢事ニ送致スヘシ

前二項ノ規定ハ司法警察官カ刑事訴訟法第百四十七條第一項ノ職務ヲ行フ場合ニ之ヲ準用ス

第十四條　前二條ノ場合ニ付テハ第一條ノ法律中豫審ニ關スル規定ヲ準用ス

第十五條　檢事被告人ヲ勾留シタル場合ニ於テ二十日内ニ起訴ノ手續ヲ爲ササルトキハ之ヲ釋放スヘシ

刑事訴訟法第百四十六條第二項ノ規定ハ之ヲ適用セス

第十六條　檢事犯罪ノ捜査ヲ終リ有罪ト思料シタルトキハ公判ヲ求ムヘシ但シ拘留又ハ科料ニ該ル事件ヲ除クノ外事件繁難ナルトキハ豫審ヲ求ムルコトヲ得

第十七條　裁判所又ハ豫審判事ハ必要ト認ムルトキハ司法警察官ヲシテ檢證、捜索、物件差押ヲ爲サシメ又ハ鑑定ヲ命セシムルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ第十二條第一項但書ノ規定ヲ準用ス

第十八條　裁判所ハ其ノ所在地外ノ地方法院ノ判事ニ檢證、捜索、物件差押ヲ爲シ又ハ鑑定ヲ命スルコトヲ囑託スルコトヲ得

豫審判事ハ其ノ裁判所所在地外ノ地方法院ノ判事ニ鑑定ヲ命スルコトヲ囑託スルコトヲ得

第十九條　受命判事又ハ受託判事ハ檢證ノ場合ニ於テ必要ト認ムルトキハ豫審判事ニ屬スル處分ヲ爲スコトヲ得

第二十條　裁判所ハ急速ヲ要スト認ムルトキハ公判開廷前ト雖檢事ニ通知シテ捜索、物件差押ヲ爲シ又ハ證人ヲ訊問シ若ハ鑑定ヲ命スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ訴訟關係人ノ立會ヲ要セス

裁判所ハ其ノ部員一名ニ命シ前項ノ處分ヲ爲サシムルコトヲ得

第二十一條　刑事訴訟法第九十二條ノ規定ハ第十二條及前二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第二十二條　刑事訴訟法第百三十條第二項ノ規定ハ朝鮮總督ニ之ヲ準用ス

第二十三條　通譯官又ハ通譯生ヲ通事ト爲ス場合ニ於テハ宣誓ヲ爲サシムルコトヲ要セス

第二十四條　刑事訴訟法第百七十九條ノ二第二項ノ規定ニ依リ辯護人ヲ選任スヘキ場合ニ於テハ辯護士ニ非サル者ヲ以テ之ニ充ツルコトヲ得

第二十五條　刑事訴訟法第二百三十七條、第二百四十一條、第二百六十四條及第二百七十六條ノ規定ハ之ヲ適用セス

第二十六條　一年以下ノ懲役、禁錮又ハ三百圓以下ノ罰金ヲ言渡シタル第一審ノ判決ニ付テハ證據ニ關スル理由ヲ省略スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ控訴ノ申立アリタルトキハ判決裁判所ハ理由書ヲ作成シテ之ヲ控訴裁判所ニ送付スヘシ

第二十七條　刑事訴訟法第二百四十五條ノ規定ハ故障ノ申立及再審ノ訴ニ之ヲ準用ス

第二十八條　辯護人ハ上訴ヲ爲スコトヲ得





第二十九條　故障ノ申立又ハ上訴ヲ爲スコトヲ得ヘキ者ハ其ノ權利ヲ拋棄スルコトヲ得

第三十條　故障ノ申立ヲ爲シタル者ハ其ノ事件ニ付判決アル迄何時ニテモ之ヲ取下クルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ前ニ爲シタル闕席判決ハ確定ノ效力ヲ生ス

檢事ハ上訴ヲ取下クルコトヲ得

第三十一條　上告ヲ爲スニハ其ノ申立書ヲ原裁判所ニ差出シ且其ノ申立ヲ爲シタル日ヨリ五日内ニ趣意書ヲ差出スヘシ

原裁判所申立書及趣意書ヲ受取リタルトキハ速ニ相手方ニ上告ノ申立アリタルコトヲ通知シ且同時ニ趣意書ノ謄本ヲ送達スヘシ

第三十二條　刑事訴訟法第二百八十一條第一項ノ答辯書ハ之ヲ原裁判所ニ差出スヘシ

原裁判所答辯書ヲ受取リタルトキハ速ニ其ノ謄本ヲ上告申立人ニ送達スヘシ

第三十三條　上告申立人期間内ニ趣意書ヲ差出ササルトキハ其ノ上告ノ申立ニ付テハ刑事訴訟法第二百七十四條ノ規定ヲ準用ス

第三十四條　上告申立人ハ趣意書ヲ差出スヘキ期間ヲ經過シタル後十四日内ニ追加趣意書ヲ上告裁判所ニ差出スコトヲ得

刑事訴訟法第二百八十條及第二百八十一條ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第三十五條　上告ノ相手方ハ上告申立期間ノ經過後追加趣意書ヲ差出シ得ヘキ期間ノ滿了前ニ限リ附帶上告ヲ爲スコトヲ得

附帶上告ハ其ノ趣意書ヲ原裁判所ニ差出スニ依リテ之ヲ爲ス

附帶上告ニ付テハ前條ノ規定ヲ適用セス

第三十六條　趣意書、追加趣意書又ハ答辯書ニハ相手方ノ數ニ應スル謄本ヲ添附スヘシ

第三十七條　上告裁判所ハ追加趣意書ヲ差出シ得ヘキ期間滿了後ノ日時ヲ以テ公判期日ヲ定メ遲クトモ開廷ヨリ三日前ニ之ヲ訴訟關係人ニ通知スヘシ

第三十八條　差押物件ノ還付ヲ爲スヘキ場合ニ於テ所有者ノ所在不明ナル爲メ又ハ其ノ他ノ事由ニ因リ還付ヲ爲スコト能ハサルトキハ檢事ハ公示ニ依リ還付ノ請求ヲ爲スヘキ旨ヲ催告スヘシ公示ノ日ヨリ六月内ニ其ノ請求ナキトキハ物件ハ國庫ニ歸屬ス

前項ノ場合ニ於テ保管ニ不便ナル物件ハ之ヲ公賣シテ其ノ代金ヲ保管スルコトヲ得

第三十九條　朝鮮民事令第三條、第四條、第六條、第十六條乃至第十八條及第三十二條ノ規定ハ刑事ニ之ヲ準用ス但シ第三條、第四條、第六條、第十六條及第十八條中第一條トアルハ本令第一條ニ該當ス

附則

本令ハ明治四十五年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

第四十一條　左ノ法令ハ之ヲ廢止ス

一　刑法大全

二　鐵道事項犯罪人處斷例

三　刑事裁判費用規則

刑法大全第四百七十三條、第四百七十七條、第四百七十八條、第四百九十八條第一號、第五百十六條、第五百三十六條及第五百九十三條ノ罪竝其ノ未遂犯ニ關スル規定ハ當分ノ内本令施行前ト同一ノ效力ヲ有ス但シ減等ニ付テハ刑法第六十八條ノ例ニ依ル

刑法大全第二條ノ規定ハ前項ノ規定ノ適用ニ付仍其ノ效力ヲ有ス

第四十二條　本令施行後仍效力ヲ有スル舊韓國法規ノ刑ハ左ノ例ニ從ヒ本令ノ刑名ニ變更ス但シ刑ノ期間又ハ金額ハ此ノ限ニ在ラス

舊韓國法規ノ刑　　本令ノ刑

死刑　　死刑

終身役刑　　無期懲役

終身流刑　　無期禁錮

十五年以下ノ役刑　　有期懲役

十五年以下ノ流刑又ハ禁獄　　有期禁錮

罰金　　罰金

拘留　　拘留

科料　　科料

沒入　　沒收

笞刑　　二十日以下ノ拘留又ハ科料

第四十三條　本令施行前舊韓國法規ノ刑ニ處セラレタル者ハ前條ノ例ニ照シ之ヲ本令ノ刑ニ處セラレタルモノト看做ス

前項ノ場合ニ於テハ笞刑ニ處セラレタル者ニ付テハ笞五ヲ以テ拘留一日ニ換フ

第四十四條　舊韓國法規ニ依リ許シタル假放ハ之ヲ假出獄ト看做ス

第四十五條　本令施行前ニ罪ヲ犯シ未タ確定判決ヲ經サル者ニ付テハ本令ニ依リ之ヲ處斷ス

第四十六條　本令施行前既ニ爲シタル上告ハ從前ノ手續ニ依リ之ヲ完結ス

第四十七條　朝鮮民事令第七十九條及第八十二條ノ規定ハ刑事ニ之ヲ準用ス

犯罪即決例中改正ノ件明治四十四年法律第三十號第一條及第二條ニ依リ勅裁ヲ得テ玆ニ之ヲ公布ス

明治四十五年三月十八日　　朝鮮總督　伯爵寺內正毅







許可 8628 号 大正

制令第十二號

犯罪即決例中左ノ通改正ス

第一條中「笞刑ヲ削リ第三號以下ヲ左ノ如ク改ム

三　三月以下ノ懲役、禁錮若ハ拘留又ハ百圓以下ノ罰金若ハ科料ノ刑ニ處スヘキ行政法規違反ノ罪

第三條及第六條中「區裁判所」ヲ「地方法院」ニ改ム

第七條中「禁錮又ハ禁獄」ヲ「又ハ禁錮」ニ改ム

第八條第二項ヲ削ル

第十一條　第八條ノ規定ニ依ル留置ノ日數ハ之ヲ拘留ノ刑期ニ算入シ第九條ノ規定ニ依ル留置ノ日數ハ一日ヲ一圓ニ折算シテ之ヲ罰金又ハ科料ノ金額ニ算入ス

附　則

本令ハ明治四十五年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

朝鮮笞刑令明治四十四年法律第三十號第一條及第二條ニ依リ勅裁ヲ得テ玆ニ之ヲ公布ス

明治四十五年三月十八日　朝鮮總督　伯爵寺內正毅

制令第十三號

朝鮮笞刑令

第一條　三月以下ノ懲役又ハ拘留ニ處スヘキ者ハ其ノ情狀ニ依リ笞刑ニ處スルコトヲ得

第二條　百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處スヘキ者左ノ各號ノ一ニ該ルトキハ其ノ情狀ニ依リ笞刑ニ處スルコトヲ得

一　朝鮮內ニ一定ノ住所ヲ有セサルトキ

二　無資產ナリト認メタルトキ

第三條　百圓以下ノ罰金又ハ科料ノ言渡ヲ受ケタル者其ノ言渡確定後五日內ニ之ヲ完納セサルトキハ檢事又ハ卽決官署ノ長ハ其ノ情狀ニ依リ笞刑ニ換フルコトヲ得但シ笞刑執行中未タ執行セサル笞數ニ相當スル罰金又ハ科料ヲ納メタルトキハ笞刑ヲ免ス

第四條　本令ニ依リ笞刑ニ處シ又ハ罰金若ハ科料ヲ笞刑ニ換フル場合ニ於テハ一日又ハ一圓ヲ笞一ニ折算ス其ノ一圓ニ滿タサルモノハ之ヲ笞一ニ計算ス但シ笞ハ五下ルコトヲ得ス

第五條　笞刑ハ十六歲以上六十歲以下ノ男子ニ非サレハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第六條　笞刑ハ笞ヲ以テ臀ヲ打チ之ヲ執行ス

第七條　笞刑ハ笞三十以下ニ在リテハ之ヲ一回ニ執行シ三十迄ヲ增ス每ニ一回ヲ加フ

笞刑ノ執行ハ一日一回ヲ超ユルコトヲ得ス

第八條　笞刑ノ言渡確定シタル者ハ其ノ執行ヲ終ル迄之ヲ監獄又ハ卽決官署ニ留置ス第三條ノ規定ニ依リ換刑ノ處分ヲ受ケタル者亦同シ

第九條　笞刑ノ言渡確定シタル者ハ其ノ執行ヲ終ル迄之ヲ監獄又ハ卽決官署ニ留置ス第三條ノ規定ニ依リ換刑ノ處分ヲ受ケタル者亦同シ

第十條　檢事又ハ卽決官署ノ長ハ受刑者ノ心神又ハ身體ノ障礙ニ因リ笞刑ヲ執行スルニ適當ナラスト認ムルトキハ三月以內執行ヲ猶豫スルコトヲ得猶豫三月ヲ超ユ猶笞刑ヲ執行スルニ適當ナラスト認ムルトキハ其ノ執行ヲ免ス

前項ノ規定ニ依リ執行ヲ猶豫セラレタル者ニ付テハ前條ノ規定ニ依ラサルコトヲ得

第十一條　笞刑ハ監獄又ハ卽決官署ニ於テ祕密ニ之ヲ執行ス

第十二條　笞刑ノ時效ハ各本刑ニ付定メタル例ニ依ル

第十三條　本令ハ朝鮮人ニ限リ之ヲ適用ス

附　則

本令ハ明治四十五年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

朝鮮監獄令明治四十四年法律第三十號第一條及第二條ニ依リ勅裁ヲ得テ玆ニ之ヲ公布ス

明治四十五年三月十八日　朝鮮總督　伯爵寺內正毅

制令第十四號

朝鮮監獄令

第一條　監獄ニ關スル事項ハ本令其ノ他ノ法令ニ特別ノ規定アル場合ヲ除ク外監獄法ニ依ル

第二條　監獄法中主務大臣ノ職務ハ朝鮮總督之ヲ行フ

第三條　拘置監ニハ笞刑ノ執行ヲ受クヘキ者ヲ留置スルコトヲ得

第四條　新ニ入監スル者傳染病ニ罹リタル者ナルトキハ入監セシメサルコトヲ得

第五條　在監者ニハ糧食ノ自辨ヲ許スコトヲ得

附　則

本令ハ明治四十五年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

## ○省令

宮內省令第二號

明治四十三年宮內省令第十五號宮內判任官ノ定員中勅裁ヲ經テ左ノ通改正ス

明治四十五年三月二十七日　宮內大臣　伯爵渡邊千秋

獵場監守長ノ下「九人」ヲ「十人」ニ改ム



附　則

本令ハ明治四十五年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

宮內省令第三號

明治四十二年宮內省令第三號判任待遇等外宮內職員職制中左ノ通改正ス

明治四十五年三月二十七日　宮內大臣　伯爵渡邊千秋

第七條第二項中「三十五人」ヲ「三十七人」ニ改ム

附　則

本令ハ明治四十五年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

遞信省令第十八號

氣象通知電報規則第一條但書中「氣象觀測ヲ爲ス者」ヲ「氣象觀測ヲ爲ス官署」ニ改ム

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

明治四十五年三月二十七日　遞信大臣　伯爵林董

## ○訓令

內務省訓令第三號

廳府縣土木出張所
衞生試驗所　傳染病研究所
造神宮使廳

明治四十三年訓令第六號內務省所管旅費規則第十二條ノ次ニ左ノ一條ヲ追加シ其第十三條ヲ第十四條トシ以下遞次繰下ク

第十三條　一般人民ヲ公務ニテ旅行セシムルトキハ左ノ區別ニ依リ旅費ヲ支給ス

一有爵者、從六位以上、勳六等以上、功五級以上及學位ヲ有スル者ハ內國旅費規則別表判任官五級俸以上ノ額

一正七位以下、勳七等以下、功六級以下ノ者ハ內國旅費規則別表判任官六級俸以下ノ額

一位勳功級學位ヲ有セサル者ハ別表第一號ノ額

明治四十三年三月二十七日　內務大臣　原敬

朝鮮總督府訓令第十二號

臨時恩賜金ノ收支ニ關スル規程中第二號第三號樣式ヲ別紙ノ通改正ス

本令ハ明治四十五年度分ヨリ之ヲ施行ス

明治四十五年三月十五日　朝鮮總督　伯爵寺內正毅



（別紙）

第二號（臨時恩賜金歲入歲出豫算樣式）

明治何年度臨時恩賜金歲入歲出總計豫算

歲入部

一金　何圓　歲出部

一金　何圓　歲入歲出差引殘金

明治何年度臨時恩賜金歲入歲出豫算

歲入部

| 科目 | 本年度豫算額 | 前年度豫算額 | 比較增減 | 備考 |
|---|---|---|---|---|
| 第一款　臨時恩賜金收入 | | | | |
| 第一項　基金利子受入 | | | | |
| 第二項　預金利子 | | | | |
| 第二款　雜收入 | | | | |
| 第一項　生產品賣却代 | | | | |
| 第二項　不用品賣却代 | | | | |
| 第三款　前年度繰越金 | | | | |
| 第一項　前年度繰越金 | | | | |
| 合計 | | | | |

歲出部

| 科目 | 本年度豫算額 | 前年度豫算額 | 比較增減 | 備考 |
|---|---|---|---|---|
| 第一款　授產費 | | | | |
| 第一項　養蠶傳習所費 | | | | |
| 第一目　俸給 | | | | 技手（又ハ教師、助手）給「何圓」「何」人分 通譯給（又ハ何何）「何圓」「何」人分 |
| 第二目　雜給 | | | | 屬員給「何圓」「何」人分 旅費「何」圓（何何） |
| 第三目　需品費 | | | | 備品費「何圓」 消耗品費「何圓」（何何） |
| 第四目　給與 | | | | 染苗購入費付「何」圓（何何） |



許可 8628 号 本文

| 第何項苗圃費 | 第六目　雜費 | 第五目　設備費 |
|---|---|---|
| 第「何」目雜給 | | 苗圃地賃入（又ハ借料ヘ何」圃肥料舍建築費「何」圃（何何）肥料代「何」圃（何何） |
| 第「何」目苗木購入費 | | 管理人給「何」圃「何」人分（何苗「何」圃（何何） |
| 第「何」目設備費 | | |
| 第「何」目事業費 | | |
| 第「何」目雜費 | | 臨室建築費「何」圃修繕費「何」圃（何何）雜費「何」圃（何何） |

| 第「何」款教育補助費 | 第「何」項教育補助費 | 第「何」目公立普通學校補助費 |
|---|---|---|
| | | 第「何」目私立學校補助費 |
| 第「何」款凶歉救濟費 | 第「何」項凶歉救濟費 | 第「何」目種穀費（何何） |
| 第「何」款恩賜金取扱費 | 第「何」項恩賜金取扱費 | 第「何」目送金費（何何） |
| 第「何」款基金編入 | 第「何」項基金編入 | 第「何」目基金編入 |
| 第「何」款豫備費 | 第「何」項豫備費 | 第「何」目豫備費 |
| 歲出合計 | | |

備考

一　樣式ニ記載シタル科目ハ單ニ例示ニ過キサルヲ以テ必要ニ應シ適宜編成スヘシ

二　授產費備考欄ニハ各項目毎ニ算出ノ基礎ヲ記載スヘシ若備考欄ニ記載スルヲ得サルトキハ別ニ說明ヲ付スヘシ

三　前年度豫算ニ比シ增減アルトキハ別ニ增減事由ヲ說明スヘシ

四　豫算書ニハ別紙第一表乃至第五表ヲ添付スヘシ

## 第一表

臨時恩賜金豫算總括

| 府郡別 | 基金利子受入 | 預金雜收繰入 | 歲入 | | | | | | 歲出 | | | | | | 差引殘額 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 繰越金 | 計 | 授產費 | 教育補助費 | 凶歉救濟費 | 恩賜金取扱費 | 基金編入費 | 豫備費 | 計 | | | | |
| 合計 | | | | | | | | | | | | | | | |

注意

一　歲入繰越金其ノ他府郡別ニ揭記シ難キ歲入ニ在リテハ合計欄ノミニ記載スヘシ

## 第二表

授產費內譯

| 府郡別 | 豫算額 | 內 | | | | | | | | | | | | | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 養蠶傳習所費 | 苗圃費 | | | | | | | | | | | | |
| | | | 種別（何） | 人員（何） | 月數（何） | 金額（何） | 數量（何） | 單價（何） | 金額（何） | （何） | （何） | （何） | （何） | 計 | |
| 合計 | | | | | | | | | | | | | | | |

注意

一　本表ハ豫算中授產費ノ項ニ該當スルモノヲ揭記スヘシ

二　府郡以上ノ關係セル事業費ニハ適宜ノ印ヲ付スヘシ

## 第三表

養蠶傳習所費（又ハ何何）內譯

| 府郡別 | 種別（何） | 人員（何） | 月數（何） | 俸給（何） | 雜給（何） | 計 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 合計 | | | | | | | |

## 第四表

教育補助費內譯

| 府郡別 | 教育補助費豫算額 | 內 | | | | | | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 公立普通學校補助 | 私立學校補助 | 何何 | | | | |
| | | | | 何何 | | | | |
| 計 | | | | | | | | |

## 第五表

凶歉救濟費內譯

| 府郡別 | 凶歉救濟費豫算額 | 內 | | | | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 食糧費 | 種穀費 | 生業扶助費 | 何何 | |
| 計 | | | | | | |





第三號（臨時恩賜金歲入歲出決算樣式）

明治何年度何道臨時恩賜金歲入歲出總計決算

歲入部

一金　豫算額　決算額

歲出部

一金　豫算額　決算額

歲入歲出差引殘金

明治何年度何道臨時恩賜金歲入歲出決算

歲入（出）部

| 科目 | 豫算額 | 決算額 | 比較增 | 比較減 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 第何款何何 | | | | | |
| 第何項何何 | | | | | |
| 第一目何何 | 一一〇〇〇〇 | 一一〇〇〇〇 | 一〇〇〇 | | 何何ニ依リ第二目ヨリ二十圓流用 |
| 第二目何何 | 一〇〇〇〇 | 一一〇〇〇〇 | 一一〇〇〇 | | 何何ニ依リ剩餘ヲ生ス |
| 第三目何何 | 五〇〇〇 | 二〇〇〇 | | 三〇〇〇 | 第一目ヘ二十圓第二目ヘ十圓流用 |
| | 五〇〇〇 | | | | 何何ニ依リ第二目ヨリ十圓流用 |
| 歲入（出）合計 | | | | | 豫備費ヨリ十圓支出 |

備考

一　豫算額欄ハ朱書スヘシ

二　科目ハ豫算ト同一ノ區分ニ依リ調製スヘシ

三　備考欄ニハ豫算ニ對スル過不足ノ理由ヲ詳記スヘシ若記載スルヲ得サルトキハ別ニ說明ヲ付スヘシ

## ○告示

內閣告示第二號

明治四十一年十二月內閣告示第五號鐵道管理局ノ名稱位置及管理區域中東部鐵道管理局管理區域ノ欄大網成東間」ノ次ニ蘇我姉ヶ崎間」ヲ追加シ三月二十八日ヨリ之ヲ施行ス

明治四十五年三月二十七日　內閣總理大臣　侯爵西園寺公望

內閣告示第三號

明治四十一年十二月內閣告示第五號鐵道管理局ノ名稱位置及管理區域中西部鐵道管理局管理區域ノ欄姬路香住間」ノ次ニ香住出雲今市間米子境間」ヲ追加シ四月一日ヨリ之ヲ施行ス

明治四十五年三月二十七日　內閣總理大臣　侯爵西園寺公望

鐵道院告示第十八號

明治四十二年十月鐵道院告示第五十四號國有鐵道線路名稱中房總線ノ次ニ「木更津線（蘇我姉ヶ崎間）」ヲ加フ

明治四十五年三月二十七日　鐵道院總裁　原敬

鐵道院告示第十九號

明治四十五年三月二十八日ヨリ木更津線蘇我姉ヶ崎間鐵道運輸營業ヲ開始ス

其ノ停車場及哩程左ノ通

明治四十五年三月二十七日　鐵道院總裁　原敬

| 停車場名 | 所在地 | 哩程 |
|---|---|---|
| 蘇我（そが） | （房總線既設停車場） | |
| 澁野（しぶの） | 千葉縣千葉郡上生實澁野村澁野 | 二哩一分 |
| 八幡宿（やはたじゅく） | 同縣上市原郡八幡町八幡 | 一哩五分 |
| 五井（ごい） | 同縣同郡上五井町五井 | 二哩三分 |
| 姉ヶ崎（あねがさき） | 同縣同郡上姉ヶ崎町姉崎 | 三哩五分 |

鐵道院告示第二十號

明治四十一年十二月鐵道院告示第一號米子出張所及同年同月同第二號中福知山建設事務所ハ三月三十一日限リ之ヲ廢止ス

明治四十五年三月二十七日　鐵道院總裁　原敬

鐵道院告示第二十一號

明治四十一年十二月鐵道院告示第二號鐵道院建設事務所名稱位置及所管區域中德島建設事務所ノ次ニ左ノ通追加シ四月一日ヨリ之ヲ施行ス

明治四十五年三月二十七日　鐵道院總裁　原敬

| 名稱 | 位置 | 所管區域 |
|---|---|---|
| 米子建設事務所 | 米子 | 倉吉驛倉吉間、今市杵築間、今市益田萩間 |

司法省告示第十二號

北海道石狩國上川郡旭川町宮下通拾壹丁目

右四五六七八九拾號

上川倉庫株式會社

北海道小樽區南濱町參丁目參番地

小樽倉庫株式會社

右供託法第五條第一項ニ依リ指定ス

明治四十五年三月二十七日

司法大臣　松田正久

文部省告示第八十九號

財團法人私立東山中學校ヲ京都府京都市上京區ニ設置シ明治四十五年四月ヨリ開校ノ件認可セリ

明治四十五年三月二十七日

文部大臣　長谷場純孝



許可 8628 号 官報

八級俸下賜　竹崎　季榮
十級俸下賜　熊本地方裁判所判事　森本豐治郎
退職ヲ命ス（以上三月二日司法省）　東京控訴院判事　宮田　近義
十級俸下賜　米澤高等工業學校教授　川口　正名
五級俸下賜（以上三月二十五日文部省）　東京女子高等師範學校教授　矢作　テツ
仙臺市ヘ出張ヲ命ス（三月二十六日同）　文部技師　柴垣鼎太郎
十級俸下賜　遞信技師　林務技師　川村　清一
山林局勤務ヲ命ス（以上三月二十五日農商務省）　遞信技師　近藤　清一
（各通）　遞信技師工學博士　澁澤　元治
遞信官吏練習所教官兼務ヲ命ス　遞信技師　關口　助市
遞信官吏練習所教官ヲ命ス（以上三月二日遞信省）　遞信技師　前原　榮
十級俸下賜（三月二日福島縣）　遞信技師　松尾　英知
　遞信管理局事務官　鈴村　秀三
　福島縣立磐城中學校教諭　滑川　一郎
　遞信技師　五十嵐秀一

## ○宮廷錄事

○迪宮淳宮光宮御歸京　裕仁親王、雍仁親王、宣仁親王三殿下ハ靜岡縣下沼津御用邸ニ御滯留ノ處本月三十日御歸京相成ルヘキ旨御治定相成リタリ但シ當日强風ナレハ御順延ノ筈ナリ御供著割左ノ如シ
午前八時五十分　沼津御用邸酉附屬邸御出門
同　九時二十分　沼津停車場御發車　臨時汽車
午後一時十分　新橋停車場御著車
御歸京
○御陪食　昨二十六日正午十二時貞愛親王戚仁親王兩殿下ヲ宮中ノ午餐ニ召サセラレ大山元帥、德大寺內大臣、奧元帥、渡邊宮內大臣、長谷川參謀總長、乃木川村大島上田各陸軍大將、淺田、木越、山中、渡邊各陸軍中將、中村侍從武官長一戸、上原、山根、神尾、內山、長岡、小泉、大迫、依田、仙波、梅澤、林、松川、仁田原各陸軍中將、堤宮中廐閑官、福島參謀次長、森陸軍軍醫總監、岡陸軍次官、山田、本鄉、島川、田中各陸軍少將ヘ御陪食仰付ケラレタリ
○皇族御發著　恆久王殿下ハ埼玉縣下ヘ御出張ノ處一昨二十五日御歸京相成リタリ

## ○彙報

### ○官廳事項

○事務所移轉　栃木種馬所ハ栃木縣河內郡藥師寺村ニ新築本月六日移轉事務ヲ開始セリ

○演習用大使館書記官著任　新任在本邦澳匈國大使館書記官男爵オートン、ハロー・グレーベン氏ハ本月四日著京シ就職セシ旨同國臨時代理大使ヨリ同日附ヲ以テ通知アリ（三月五日午後）

○官吏發著　宇宿步兵第十三旅團長ハ步兵第二十五聯隊第一期教育檢閱實視ノタメ本月二十一日發七師團參謀長吉橋三郎ハ同聯隊教育檢閱ニ函館重砲兵大隊教育視察ノタメ本月廿六日函館ニ向ヒ同二十二日歸內步兵第二十三旅團長ハ步兵第五十五聯隊第一期檢閱臨檢及第六師團各部隊視察ノタメ佐賀及熊本鹿兒島、都城地方ニ向ヒ製島重砲兵隊ハ繰練重砲兵大隊及重砲兵第四聯隊教育實視ノタメ鐵路及廣島地方ニ向ヒ同二十三日、務川步兵第二十六旅團長ハ地理實査ノタメ長野縣安曇、松代地方ニ向ヒ一昨二十五日、並花近衛步兵第一旅團長ハ騎部演習統裁ノタメ山梨縣甲府ニ向ヒ昨二十六日發ヒ出發ヒ直ニ北海道ニ赴ク旨通知セリ、中川關部地方ヘ出張ノ高橋步兵第十四旅團長、愛知縣東春日井郡守山町地方ヘ出張ノ町田步兵第三十旅團長ハ本月二十一日發ヒ歸著、淺ニ千葉縣下ヘ出張ノ山口重砲兵第一旅團長ハ同日歸著、更ニ上京ノタメ同二十二日出發同二十三日、騎兵旅團長召集ニ付キ參列ノタメ上京ノ河野騎兵第一旅團長、岐阜縣稻葉部北長森村ヘ出張ノ第三師團參謀長西川虎次郎、溜松步兵第六十七聯隊ヘ出張ノ第十五師團參謀長鈴木朝貫ハ同二十四日發ヒ歸著ヒ淺ニ軍馬補充部本部出張ノ山梨縣西山梨郡相川村ヘ出張ノ山梨步兵第一旅團長、靜岡縣下ヘ出張ノ芳賀近衛師團軍醫部長ハ同二十三日、千葉縣下志津原地方ヘ出張ノ大庭陸軍戶山學校長、同縣佐倉ヘ出張ノ螺崎步兵第二旅團長ハ同二十四日發ヒ歸京ヒ陸軍重砲兵射擊學校長統監部ニ八陸軍技術審查部ニ於ケル議員會議ノタメ一昨二十五日上京セリ

## 司法及警察

○特赦　群馬縣碓氷郡鎗野村大字土塩村平民土原梅五郎ハ放殺ノ罪ニ因リ明治三十九年三月十四日前橋地方裁判所ニ於テ重禁役九年ニ處セラレ服役中昨四十四年十一月二十一日假出獄許可ノ處本月二十日特典ヲ以テ放免セラレタリ

○辯護士名簿登錄　熊本縣芦北郡川嶋太ノ請求ニ依リ本月十八日熊本地方裁判所檢事局ニ於テ辯護士名簿ニ登錄セリ

○出火
東京府外一縣ニ於ケル出火左ノ如シ
東京府　一昨二十五日午後五時四十分東京市麴町區三番町七十四番地ヨリ出火全燒住屋一戶同六時十分鎭火、昨二十六日午前二時四十五分同市下谷區谷中天王寺町三十二番地ヨリ出火全燒住屋一戶同三時四十五分鎭火セリ
福島縣　本月二十四日午後零時十分安積郡郡山町大字大重ヨリ出火全燒四十六戶（四十九棟）、半燒十一戶（十二棟）同一時鎭火原因過失ナリ
鹿兒島縣手帳ニ本日（三月二十六日）午前九時本縣下囘伊都津縣石村民家ヨリ出火四十三戶（五十棟）燒失同十時半鎭火原因小兒ノ弄火ナリ（三月二十六日午後五時三十五分著電報告）

### ○陸海軍

○豫備役編入　休職陸軍三等軍醫太田爲治ハ休職滯朋ニ付キ本月七日豫備役ニ編入セラレ（陸軍省）

○不要徵兵終決處分者　靜岡縣ニ於ケル所在不明ノ徵兵終決處分者本濟者中志太郡東益津村小濱（六大畑勇吉明治二十年十一月二十八日生）ハ所在發見ノタメ爾後調查ヲ要セサル者ト爲レリ（靜岡縣）

○軍艦發著　各港灣ニ於ケル軍艦發著左ノ如シ（海軍省）

| 艦名 | 月日 | 著發 | 行先 |
|---|---|---|---|
| 高千穗 | 三、二五 | 橫須賀 | |
| 山彥 | 同 | 津 | 香取 |
| 鳳（艦名不詳） | 同 | 橫須賀 | 伊吹 |
| 海鳥 | 同 | 橫須賀 | 筑波 |
| 安藝島 | 同 | 嚴島 | 對馬 |
| | 同 | 馬境 | 朝日 |
| | 三、二六 | 神戶 | 橋立 |
| | | 橫須賀 | 館山 |





## ○學事

○卒業證書授與　東京高等工業學校ニ於テ一昨二十五日附設工業教員養成所及附屬職工徒弟學校卒業證書授與式ヲ擧行セリ其次第左ノ如シ（文部省）
當日午後二時五十分來賓並ニ職員等順次著席手島校長卒業式舉行ノ旨ヲ述ヘ唱歌（省が代）終リテ校長卒業證書、證明書、職工認定證書及行狀證明書ヲ授與シ次ニ眞野文部省實業學務局長優等生ニ獎學賞金、當日ヲ課業勵精ノ者ニ手島獎學賞牌ヲ授與シ次ニ校長演說ヲ爲シ次ニ眞野同局長文部大臣ノ訓辭ヲ代讀シ次ニ卒業者總代答辭ヲ朗讀シ次ニ唱歌（校歌）同三時五十分式ヲ舉ケ畢レリ卒業證書、證明書、獎學賞牌受領者氏名（イロハ順）、文部大臣ノ訓辭及校長ノ演說大意左ノ如シ

附設工業教員養成所卒業者

機械科
岡山縣平民　伊藤　陽兒
福島縣平民　貫名　基
福井縣平民　加藤　武次
福井縣平民　長井　教雄
和歌山縣士族　植阪　康一
愛知縣士族　山下　誠太郎
兵庫縣平民　笹山　玖七
福岡縣平民　毛利　森一
愛知縣平民　鈴木　直則

色染科
鳥取縣平民　山本　季男

應用化學科
福井縣士族　田川　四六
新潟縣平民　嵐城　治作
靜岡縣平民　鈴木　京平

建築科
福島縣平民　岩井多喜一郎
千葉縣平民　渡邊　鎌治
東京府平民　吉川　天民
熊本縣平民　高濱　橘作
茨城縣平民　安　美賀
富山縣平民　經塚　福一
福岡縣士族　樋口　啟彥

紡織科
愛知縣平民　木村　榮

窯業科
大阪府士族　田名部　道雄

工業圖案科
秋田縣平民　古谷　榮太郎

電氣科
靜岡縣平民　林　勝造
石川縣士族　林　知義
岐阜縣平民　小栗　卓爾
青森縣平民　成田　武之助
愛知縣平民　長岡　乙次郎
熊本縣士族　中島　友正
茨城縣士族　櫻井　柳之助

仕上科
大工科
東京府士族　船田　幸一郎
東京府平民　木村　武四郎
東京府平民　宮澤　源太郎
島根縣平民　樋野　國七郎
東京府平民　關口　勇次郎
東京府平民　關　　鍛工科
東京府平民　松本　英一
東京府平民　阿部　清
東京府平民　鈴木　巳之次

紡織科卒業者
東京府平民　今井　直一
茨城縣士族　伊藤　毅一
東京府平民　山上　孝太郎
東京府士族　增田　榮一
埼玉縣平民　青木　眞吉

色染科卒業者
千葉縣平民　岡本　勘逸
東京府平民　山下　伍三
東京府平民　穴澤　金八

製版科卒業者
東京府士族　狹山　眞造
東京府平民　熊野　八郎
東京府士族　山田　勇

漆工科卒業者
東京府平民　小川　駒次郎

## 職工認定證書受領者

大工業
茨城縣士族　石井　菊次郎
茨城縣平民　今泉　廣亀
機械製作業
千葉縣平民　石井　榮一
機械製作業
東京府平民　泉　眞三
機械製作業
茨城縣士族　井上　信常
機械製作業
茨城縣平民　福一　貫
機械製作業
東京府平民　保原　豐三郎
紡績業
東京都府士族　北條　幸一郎
鍛工業
東京府平民　戶田　幸一郎
鍛工業
北海道平民　音崎　秀一
機械製作業
東京府平民　太田　福松
機械製作業
東京府平民　田村　清太郎
大工業
靜岡縣平民　勇助　善吉
大工業
千葉縣平民　大後　善吉
機械製作業
東京府平民　武田　友太郎
機械製作業
東京府平民　銀次郎　壽雄
織物仕上業
東京府士族　櫛橋　第丸

鍛工業竝製圖
機械製圖
東京府平民　辻　慧治郎
鍛工業
千葉縣平民　中島　忠保
鍛工業
東京府士族　永山　幸一郎
鍛工業
長野縣士族　中村　三太郎
力機製作業
東京府士族　永田　信
電氣機械製作業
千葉縣平民　矢口　正三
電氣機械製作業
東京府平民　山口　直弼
電氣機械製作業
東京府士族　古谷　英就
機械製作業
千葉縣平民　安藤　敏夫
鑄物業
神奈川縣平民　伊三郎
力機製作業
東京府平民　砂元　力助
大工業
東京府平民　秋和　岩次郎
建築現場係
東京府平民　佐藤　長太郎
機械製作業
埼玉縣平民　坂本　駒太郎
家具製作業
東京府平民　酒井　磯吉
金屬小細工業
滋賀縣平民　北田　榮次郎
機械製圖
東京府平民　木村　春吉
紡績業
東京府士族　平山　直一
東京府士族　武夫

## 行狀善良證明書受領者

木工科卒業者
東京府平民　馬場　若太郎
東京府平民　大野　大助　茂
東京府士族　大村　四郎
東京府平民　小川　甚一郎
東京府平民　高梨　彥政
東京府平民　中村　鐵吾
東京府平民　上野　五郎
東京府平民　內田　信
茨城縣平民　倉持　方助　勝一
東京府平民　小松　五郎
東京府平民　小林　市太郎
東京府平民　小島　銕太郎
茨城縣平民　青野　富藏
東京府平民　簗瀨　福松
福島縣平民　佐々木　忠幸
東京府平民　蜂村　九郎

金工科卒業者
東京府平民　石川　茂
東京府平民　市川　友之助
東京府平民　尾崎　清信
東京府平民　岡田　幸太郎
東京府平民　黑田　信之
靜岡縣平民　神谷　桂太郎
東京府平民　中島　卯之助
群馬縣平民　村田　喜一郎
東京府平民　熊田　末次郎
長崎縣士族　黑川　稔
長崎縣平民　山崎　三郎

電氣科卒業者
馬場　若太郎
大野　茂
村田　喜一郎
松本　英一

製版科卒業者
山田　勇

東京高等工業學校創立滿二十五年紀念獎學賞金及賞品受領者
此賞金及賞品ハ本校創立滿二十五年紀念ノタメ有志者ヨリ寄贈ノ獎學資金ヨリ生スル利益金ノ一部ヨリ以テ優等生ニ賞與スルモノナリ

賞金受領者
賞金（二十五圓）受領者
木工科第三年生　村越　安吉
賞金（十五圓）受領者
色染科第三年生　調　正六
賞金（五圓）受領者
金工科第二年生　隅田　健吉
電氣科第二年生　鵜　猛治



本文 8628 号

賞品受領者

附設工業教員養成所

應用化學科卒業者

建築科卒業者

附屬職工徒弟學校

電氣科卒業者

手島奬學賞牌受領者

此賞牌ハ當該學年間一日ノ缺課ヲ勿論一回ノ遲刻早退ヲ為サス勤勉セル者ヲ表彰スルタメニ授クルモノニシテ第一回ニ銅牌ヲ、第二回ニ銀牌ヲ、第三回ニ金牌ヲ、第四回ニ特別金牌ヲ付與スルモノトス

附設工業教員養成所

機械科卒業者

特別金牌

金牌

同　建築科卒業者

特別金牌

同　金牌

銀牌　色染科卒業者

金牌　紡織科卒業者

特別金牌　應用化學科卒業者

金牌　電氣科卒業者

銀牌　電氣科卒業者

銅牌　附屬職工徒弟學校　木工科卒業生

金牌　金工科卒業者

同　同

同　同　銀牌　電氣科卒業者

金牌　金工科卒業者

同　同　銀牌　紡織科卒業者

同　同　銅牌　色染科卒業者

同　同　銅牌　製版科卒業者

銀牌　木工科第三年

同　同　銅牌　紡織科第三年

同　同　銅牌　色染科第三年

同　同　銅牌　電氣科第三年

銀牌　金工科第三年

同　同　銅牌　製版科第三年

同　同　銅牌　木工科第二年

同　同　銅牌　紡織科第二年

同　同　銅牌　色染科第二年

同　同　銅牌　製版科第二年

同　同　銅牌　漆工科第二年

同　同　銅牌　電氣科第二年

嵐城　治作
安　美賀
金子　已之次
松本　英一
池田　清次郎
蜂巣　徳吉
細淵　重中
戸田　康雅
渡邊　清治
河又　綉
川村　五郎
隅田　健吉
藤井　駒吉
島田　萬次郎
矢代　光次
町田　久一郎
佐々木義一郎
小川　正文
植阪　康一
加藤　直次
笹山　政七
安　美賀
蔦一　櫃作
岩井多喜一郎
山本　季男
木村　翠
鈴木　章平
嵐城　治作
乙次郎
林　彌源太
小川　甚一郎
内田　方助
小島　銕太郎
峰村　九郎
石川　友之助
市川　信之
樋野　瀬太郎
園口　孝次郎
岡田　幸太郎
松本　英一
阿部　浩
鈴木　已之次
埼田　榮一
清水　巽吉
今井　直一
岡本　勘逸
龍野　八郎
石井　亘
米倉　安造
田中　源治
中山　安吉
村越　孝次郎
藤掛　元三郎
清水　亘太郎
萱野　參男
猿山　
飯田　文次郎
木多　雄
大内　銕太郎
福島　菊次郎
三十尾　幸吉
石渡　時藏
和久井　磯吉
西島　延男
酒井　松藏
飯島　壽
篠原　悦郎
田中　孝雄
色染科第三年
阿部　清次郎
樋口　國武
細野　長松
戸張　芳太郎
金田　清吉
金子　竹一
中村　清次郎
宇佐美善太郎
白田　銀次郎
鵜山　國治
山崎　孝一
服部　玉之助
加藤　養伍
竹内　音三郎
梅本　重中
佐藤　敬太郎
色染科第二年
杉本　次郎
製版科第二年
古坂　正勝
松本　海八
文部大臣祝辭
輸送國運ノ發展ハ工業ノ進歩ヲ促シテ偕マス工業ノ進歩ハ農業ヲシテ其ノ資ヲ完ウスルト共ニ既得ノ學識ヲ應用セシメ益々其ノ發展ヲ圖ラシムルニ在リ然レトモ此ノ時ニ方リ諸子ハ本校ニ專門ノ科程ヲ卒ヘテ或ハ工業教育ノ任ニ當リ或ハ製作ノ事ニ從ハントスル諸子ノ資モ亦重シト謂フヘシ
諸子ハ日ヲ出テ、職ニ就カハ熱心ト勤勉トヲ以テ業ニ服シ以テ其ノ資ヲ完ウスルト共ニ既得ノ學識ヲ階梯トシテ更ニ一段ノ研究ヲ努ムルニ意ルコト勿レ更ニ一言諸子ニ諭ケン苟モ工業ニ從事スルモノハ管ニ技術ニ嫻練熟達スルノミヲ以テ足レリトセス必ス人格ヲ守ルコト肝要ニシテ秩序ヲ重ンスルコト慎密ニ常ニ品性ノ高潔ニ持スルノ用意ナカルヘカラス特ニ教育ノ任ニ當ル者ハ自家ノ人格ニヨリテ生徒ノ感化シ感賞勤勉ノ美風ヲ養成センコトヲ要ス諸子夫レ旃ヲ勉メヨ
校長演說大意
本日卒業證書ヲ授與セシ者ハ附設工業教員養成所ニ在テハ三十名ニシテ徴兵令關係等ノ事故ニ依ル者數名ヲ除ク外他ハ皆各地方工業學校等ニ於テ修業スルノ豫約アル者ナリト雖尚ホ專門學科ノ種類ニ依リテハ卒業者ノ數少キカ爲メ之ヲ供給スルコト能ハサルモノ少カラス又附屬職工徒弟學校ニ在リテハ四十九名ニシテ同卒業者ハ自家ニ於テ父兄ノ業ヲ助クル者又ハ工場等ニ於テ練ヲ熟ルノ豫定アリテ是レ亦多數ノ需要ヲ充タスコト能ハサルノ現ハトス此ノ如ク工業教員竝ニ幼年職工需要多キハ我カ工業カ健全ナル進歩ノ途ニアルヲ證スルニ足リテ慶賀スヘキコトナリトス
今ヤ我邦ノ產業ヲ發展セシメ以テ國家ノ富源ヲ開拓スルノ要アルハ世間既ニ定論アレハ今更メテ述フルノ要ナカラン凡ソ一國文明ノ隆替ハ其ノ形而上下ヲ問ハス其ノ國民ノ人格ノ高卑ト元氣ノ盛衰トノ反映タルヲ覺ラ夫ノ英、米、獨諸國ノ如キハ其ノ國民ハ旺盛ナル元氣ト崇高ナル人格トヲ備ヘ加之モ勤勉ニシテ忍耐ニ富メリ然レハ百般ノ事物悉ク皆日進月歩ノ進境ニアリ而シテ又是等諸國民ノ人智如何ト觀レハ教育ハ普及シ知識ノ進歩セサルハナシ爰ニ知ル人格ト元氣トハ教育ノ效果ニ藉リテ國運ノ發展ニ資スルコト多大ナルコトヲ顧テ我カ國民ノ性格ヲ考フルニ其ノ人格ト元氣トノ二點ニ就テハ東洋各國中我邦ヲ推シテ第一トナスハ蓋シ世界各國民ノ首肯スル所ナラン然ルニ我邦各般ノ事物ヲ英、米、獨ノ諸國ニ比シ往々三舍ヲ避クルノ歎アラシムルハ其ノ原因一ナラサルヘキモ要ハ教育ノ普及セサル爲メ通有ノ智識足ラス專門ノ事理ニ明カナラサルニ職由スルモノノ如シ殊ニ我邦カ列國ト對時シテ最モ遜色アルモノハ工業ニシテ其ノ教育モ亦然リトス且ツ其ノ教育ノ目至テハ世間ノ風潮タル傾ニ程度ノ高キモノヲ尚フノ弊ニ陷リテ徒弟學校ノ數少キノミナラス其ノ教育モ亦振ハサルハ慨歎ニ勝ユヘケンヤ且ツ夫レ英、米、獨諸國ノ工業ノ進歩發達セル所以ノモノハ一ナラサルハ勿論ナリト雖モ近時大ニ工業教育ノ奬勵シ特ニ下級工業者ノ補習教育ノ如キハ其ノ急要ヲ認メタノ設務教育トナスモノサヘアルニ至レリ今日ノ進歩發達ヲ見ル豈ニ偶



然ナランヤ之ニ反シ歐洲ニ在テモ工業ノ比較的振ハサル諸國ハ其國民ノ人格及元氣共ニ英、獨兩國民ニ比シ及ハサル所アルニ因ルナルヘシト雖モ工業教育ノ施設上缺陷アルコトヲ思ハサルヘカラス故ニ苟モ我工業ノ發展ニ益センニハ低度工業教育ノ奬勵スルノ要アリト雖而シテ之カ教師タルヘキ適當ナル人材タル者ヲ養成スルニ在リ然レハ世論モ亦低度工業教育ノ伸張ト共ニ之カ教師ノ養成スルハ之ニ伴隨スル必要條件タルコトニ贅同セラレンコトヲ望マサルヲ得サルナリ
是レヨリ養成所卒業者ニ告ケンニ諸子ハ多年專門ノ學ヲ修メ學業ノ成績モ佳良ナルノミナラス近時諸子各自ノ間ニ人格ノ修養ヲ重ンスルノ美風大ニ興リ入ノ師タルノ素地ヲモ具ヘ尚ニ篤ク省ク為メニ他ノ目ヲ顧ミス工業界ニ於テハ尚ホ諸種ノ缺點行ハレ殊ニ下級工業者中ニハ自己ノ勞力ヲ省ク為メ又更ニ職工ニ對シテ勤モスレハ非難ノ聲ヲ耳ニスルハ轉職スルコト多キカ為メナレハ諸子ハ此種ノ弊ニ陷ラサルコトヲ期スルト共ニ徒弟學校教官カ平素諸子ヲ薫陶シタル主旨ヲ遵奉スルコトヲ忘ルヘカラス
又更ニ職工認定證書受領者ニ告ケンニ諸子ハ卒業後二箇年ノ間同一ノ業ニ從事シ毎ニ勤勉誠實ニシテ屢主ニ職工認定證書受領者ニ告ケンニ諸子ハ卒業後二箇年ノ間同一ノ業ニ從事シ毎ニ勤勉誠實ニシテ屢主ニ職工認定證書ノ授與ヲ興フルハ本校ノ庶トスル所ナリト雖モ諸子ハ今日始メテ一箇ノ職工トシテ認定セラレタルモノニシテ諸子カ前途ニ於テ眞工タルト否トハ諸子カ今日以後ニ在ルナリ幸ニ諸子ニシテ從前ノ勤勉ト誠實ノ習性ヲ發揮セハ諸子ノ前途ハ好望ニシテ洋々タル春海ノ如キモノアラン諸子須ラク之ヲ記憶スヘキナリ

## ○財政

### 大藏省ノ調査ニ係ル輸出入貨物及輸出入金銀ノ本年一月以降去月マテノ累計額左ノ如シ　十六日本欄内參看

去月二十八日及本月（大藏省）

輸出

輸入

#### 貨物輸出入國別

| 品細區別 | 四十五年 | | 四十四年 | | 四十三年 | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 清國 | 一二、六七一、〇四〇 | 四、六五八、三四二 | 一〇、〇六五、八四〇 | 六、五四五、八四二 | 八、六四二、一三五 | 五、三四五、八四二 |
| 關東州 | 三、五八八、一三五 | 一、九五八、一三五 | 六、五四五、八四二 | 三、六四二、一三五 | 五、三四五、八四二 | 二、六四二、一三五 |
| 韓國 | — | — | — | — | — | — |
| 香港 | 四、〇四〇、〇六五 | 二、一一〇、〇六五 | 一、〇四〇、〇六五 | 一、一一〇、〇六五 | 一、〇四〇、〇六五 | 一、一一〇、〇六五 |
| 英領印度 | 三、一四〇、三四〇 | 一、六四二、一三五 | 二、六四二、一三五 | 一、三四五、八四二 | 二、六四二、一三五 | 一、三四五、八四二 |
| 同海峽殖民地 | 一、三四〇、三四〇 | 六五八、一三五 | 一、三四五、八四二 | 六五八、一三五 | 一、三四五、八四二 | 六五八、一三五 |
| 蘭領印度 | 五五八、一三五 | 二八四、一三五 | 六五八、一三五 | 三四五、八四二 | 六五八、一三五 | 三四五、八四二 |
| 佛領印度 | 二八四、一三五 | 一四五、八四二 | 二八四、一三五 | 一四五、八四二 | 二八四、一三五 | 一四五、八四二 |
| 露領亞細亞 | 三四二、一三五 | 一七五、八四二 | 三四二、一三五 | 一七五、八四二 | 三四二、一三五 | 一七五、八四二 |
| フィリピン諸島 | 一、〇五八、三四〇 | 五四二、一三五 | 一、〇五八、三四〇 | 五四二、一三五 | 一、〇五八、三四〇 | 五四二、一三五 |
| 遞羅 | 六八、一三五 | 三五、八四二 | 六八、一三五 | 三五、八四二 | 六八、一三五 | 三五、八四二 |
| 計 | 二二、三二一、〇四〇 | 一一、四二八、三四二 | 二二、三二一、〇四〇 | 一一、四二八、三四二 | 二二、三二一、〇四〇 | 一一、四二八、三四二 |

| 品細區別 | 四十五年 | | 四十四年 | | 四十三年 | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 英國 | 三、六八八、一三五 | 一、九五八、一三五 | 六、五四五、八四二 | 三、六四二、一三五 | 五、三四五、八四二 | 二、六四二、一三五 |
| 獨國 | 二、三四五、八四二 | 一、二一〇、〇六五 | 三、六四二、一三五 | 一、九五八、一三五 | 二、六四二、一三五 | 一、三四五、八四二 |
| 佛國 | 一、八五八、一三五 | 九五八、一三五 | 一、三四五、八四二 | 六五八、一三五 | 一、三四五、八四二 | 六五八、一三五 |
| 白耳義 | 一、一四〇、三四〇 | 五八四、一三五 | 一、六四二、一三五 | 八四五、八四二 | 一、三四五、八四二 | 六五八、一三五 |
| 伊太利 | 一、八五八、一三五 | 九五八、一三五 | 一、三四五、八四二 | 六五八、一三五 | 一、三四五、八四二 | 六五八、一三五 |
| 瑞西 | 一、一四〇、三四〇 | 五八四、一三五 | 一、六四二、一三五 | 八四五、八四二 | 一、三四五、八四二 | 六五八、一三五 |
| 墺地利匈牙利 | 一、一四〇、三四〇 | 五八四、一三五 | 一、六四二、一三五 | 八四五、八四二 | 一、三四五、八四二 | 六五八、一三五 |
| 和蘭 | 五八四、一三五 | 二九二、一三五 | 八四五、八四二 | 四二八、一三五 | 六五八、一三五 | 三四五、八四二 |
| 瑞典 | 一、一四〇、三四〇 | 五八四、一三五 | 一、六四二、一三五 | 八四五、八四二 | 一、三四五、八四二 | 六五八、一三五 |
| 諾威 | 三四二、一三五 | 一七五、八四二 | 五四二、一三五 | 二七五、八四二 | 三四二、一三五 | 一七五、八四二 |
| 露西亞 | 一、一四〇、三四〇 | 五八四、一三五 | 一、六四二、一三五 | 八四五、八四二 | 一、三四五、八四二 | 六五八、一三五 |
| 西班牙 | 三四二、一三五 | 一七五、八四二 | 五四二、一三五 | 二七五、八四二 | 三四二、一三五 | 一七五、八四二 |
| 丁抹 | 一、一四〇、三四〇 | 五八四、一三五 | 一、六四二、一三五 | 八四五、八四二 | 一、三四五、八四二 | 六五八、一三五 |
| 土耳其 | 三四二、一三五 | 一七五、八四二 | 五四二、一三五 | 二七五、八四二 | 三四二、一三五 | 一七五、八四二 |
| 葡萄牙 | 一、六八八、一三五 | 八五八、一三五 | 二、六四二、一三五 | 一、三四五、八四二 | 二、六四二、一三五 | 一、三四五、八四二 |
| 計 | 一六、六八八、一三五 | 八、五八四、一三五 | 一六、六八八、一三五 | 八、五八四、一三五 | 一六、六八八、一三五 | 八、五八四、一三五 |
| 亞米利加合衆國 | 三、九五八、一三五 | 二、〇一〇、〇六五 | 二、六四二、一三五 | 一、三四五、八四二 | 二、六四二、一三五 | 一、三四五、八四二 |
| 英領亞米利加 | 三八八、一三五 | 一九八、一三五 | 一、三四五、八四二 | 六五八、一三五 | 一、三四五、八四二 | 六五八、一三五 |
| 墨西哥 | 一、一四〇、三四〇 | 五八四、一三五 | 一、六四二、一三五 | 八四五、八四二 | 一、三四五、八四二 | 六五八、一三五 |
| 秘露 | 九、九四〇 | 五、〇四〇 | 一、〇四〇、〇六五 | 五四〇、〇六五 | 一、〇四〇、〇六五 | 五四〇、〇六五 |
| 智利 | 一、八五八、一三五 | 九五八、一三五 | 一、三四五、八四二 | 六五八、一三五 | 一、三四五、八四二 | 六五八、一三五 |
| 亞爾然丁 | 二、一四〇、三四〇 | 一、〇八四、一三五 | 一、六四二、一三五 | 八四五、八四二 | 一、三四五、八四二 | 六五八、一三五 |
| 計 | 一〇、九八八、一三五 | 五、五八四、一三五 | 一〇、九八八、一三五 | 五、五八四、一三五 | 一〇、九八八、一三五 | 五、五八四、一三五 |
| 其他諸洲 | 一、一四〇、三四〇 | 五八四、一三五 | 一、六四二、一三五 | 八四五、八四二 | 一、三四五、八四二 | 六五八、一三五 |
| 澤太刺利 | 一、一四〇、三四〇 | 五八四、一三五 | 一、六四二、一三五 | 八四五、八四二 | 一、三四五、八四二 | 六五八、一三五 |
| 布哇 | 一、八四〇、九四〇 | 九四〇、〇六五 | 一、〇四〇、〇六五 | 五四〇、〇六五 | 一、〇四〇、〇六五 | 五四〇、〇六五 |
| 埃及 | 一、八四〇、九四〇 | 九四〇、〇六五 | 一、〇四〇、〇六五 | 五四〇、〇六五 | 一、〇四〇、〇六五 | 五四〇、〇六五 |
| 海峽殖民地及ナタル | 一、三四〇、三四〇 | 六五八、一三五 | 一、三四五、八四二 | 六五八、一三五 | 一、三四五、八四二 | 六五八、一三五 |
| 計 | 一、一四〇、三四〇 | 五八四、一三五 | 一、六四二、一三五 | 八四五、八四二 | 一、三四五、八四二 | 六五八、一三五 |
| 其他諸國 | 一、一四〇、三四〇 | 五八四、一三五 | 一、六四二、一三五 | 八四五、八四二 | 一、三四五、八四二 | 六五八、一三五 |
| 不詳 | 一、一四〇、三四〇 | 五八四、一三五 | 一、六四二、一三五 | 八四五、八四二 | 一、三四五、八四二 | 六五八、一三五 |
| 計 | 二、二八〇、六八〇 | 一、一六八、二七〇 | 二、八四〇、一三五 | 一、四二八、三四二 | 二、八四〇、一三五 | 一、四二八、三四二 |

#### 金銀輸出入國別

| 國別 | 四十五年 | | 四十四年 | | 四十三年 | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 清國 | 一、一四〇、三四〇 | 五八四、一三五 | 二、八四〇、一三五 | 一、四二八、三四二 | 二、八四〇、一三五 | 一、四二八、三四二 |
| 關東州 | — | — | — | — | — | — |
| 韓國 | — | — | — | — | — | — |
| 香港 | 一、一四〇、三四〇 | 五八四、一三五 | 一、〇四〇、〇六五 | 五四〇、〇六五 | 一、〇四〇、〇六五 | 五四〇、〇六五 |
| 英領海峽殖民地 | 二、一四〇、三四〇 | 一、〇八四、一三五 | 一、三四五、八四二 | 六五八、一三五 | 一、三四五、八四二 | 六五八、一三五 |
| 英吉利 | 一、一四〇、三四〇 | 五八四、一三五 | 一、六四二、一三五 | 八四五、八四二 | 一、三四五、八四二 | 六五八、一三五 |
| 佛國 | — | — | — | — | — | — |
| 北米合衆國 | 一、一四〇、三四〇 | 五八四、一三五 | 一、六四二、一三五 | 八四五、八四二 | 一、三四五、八四二 | 六五八、一三五 |
| 英領亞米利加 | 一、一四〇、三四〇 | 五八四、一三五 | 一、六四二、一三五 | 八四五、八四二 | 一、三四五、八四二 | 六五八、一三五 |
| 計 | 一、一四〇、三四〇 | 五八四、一三五 | 一、六四二、一三五 | 八四五、八四二 | 一、三四五、八四二 | 六五八、一三五 |





許可 8628 号

## ○産業

○補助金交付　滋賀縣ニ對シ耕地整理費補助金還付變更ノ件ヲ認可シ同補助金ニ金千四圓ヲ增加交付スル旨一昨二十五日沒令セリ（農商務省）

○種畜拂下　月寒種畜牧場ニ於テ種畜拂下規程ニ依リ出願者ニ拂下ケ得ル去月末日現在種畜左ノ如シ（農商務省）

| 種類 | 性 | 頭數 | 年 | 月 | 見積代價一頭ニ付キ |
|---|---|---|---|---|---|
| 「エーアシャー」種牛 | 牡 | 一〇 | 自四十三年十一月至四十四年五月 | | 百五十圓以上二百十圓以下 |
| 「シンメンタール」種牛 | 〃 | 七 | 自四十四年六月及同年七月 | | 百七十圓及百九十圓 |
| 「ブラウンス井ッス」種牛 | 〃 | 五 | 自四十三年十一月至四十四年七月 | | 百三十圓以上百六十圓以下 |
| 「サウスダウン」種綿羊 | 〃 | 二 | 四十四年七月 | | 百二十圓及百圓 |
| 「シロップシャー」種綿羊 | 〃 | 四 | 自四十三年十月至四十四年四月 | | 百二十圓及百圓 |
| | 〃 | 三 | | | 十二圓 |
| | 〃 | 二 | | | 十圓 |
| | 〃 | 二 | | | 十二圓 |
| | | | | | 十圓 |

○鑛業事項　鑛業法ニ依リ處分シタルモノ左ノ如シ（農商務省）

試掘許可

| 登錄番號 | 鑛區所在地 | 鑛種 | 面積 | 鑛業權者住所氏名 | 許可及登錄月日 | 事由 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 秋田試登錄第八百四十六號 | 北秋田郡南田村地內 | 金、銀、銅 | 二三、七〇六 | 秋田縣北秋田郡大館町 關村新之助 | 三、一 | 試掘願許可 |
| 福島試登錄第六百九十四號 | 信夫郡水原村、越川村地內 | 金、銀 | 二〇四、八四五 | 福島縣信夫郡水原村 安齋伊太郎外一人 | 三、一 | 同 |
| 秋田試登錄第八百四十七號 | 南秋田郡川尻村地內 | 石油 | 七五、一七七 | 秋田縣河邊郡川添村 專治 | 三、一 | 同 |
| 秋田試登錄第八百四十八號 | 北秋田郡南田村地內 | 石油、土 | 二五、一六一 | 山形縣飽海郡酒田町 野附友三郎 | 三、一 | 同 |
| 秋田試登錄第八百四十九號 | 山本郡藤琴村地內 | 金、銀、銅、鉛、亞鉛 | 一七九、一八〇 | 巖手縣和賀郡澤內村 高橋吉藏外二人 | 三、一 | 同 |
| 山形試登錄第四百四十九號 | 東田川郡立谷澤亞炭 | 亞炭 | 一〇六、〇五五 | 山形縣最上郡古口村 宇吉矢口外二人 | 三、一 | 試掘願許可 |
| 秋田試登錄第八百四十八號 | 南秋田郡金足村地內 | 金、銀 | 二六〇、二四 | 新潟縣古志郡山本村 嘯栗 | 三、一 | 同 |
| 巖手試登錄第八百四十一號 | 東磐井郡猿澤村地內 | 金、銀、銅 | 二六三、七七六 | 秋田縣雄勝郡湯澤町 諸越 | 三、一 | 同 |
| 秋田試登錄第四百四十八號 | 雄上郡秩野村地內 | 金、銀、銅、鉛、亞鉛 | 一七九、一八〇 | 東京市芝區明舟町 田中淺太郎外一人 | 三、一 | 同 |
| 山形試登錄第四百四十九號 | 東田川郡立谷澤亞炭 | 亞炭 | 一〇六、〇五五 | 山形縣最上郡古口村 宇吉矢口外二人 | 三、一 | 同 |

出願地續種面積　出願人住所氏名　處分ノ月日　事由

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 秋田縣南秋田郡南磯村船川港町地內 | 石油 | 三八、〇〇〇 坪 | 秋田市保戸野淸助町 廣田萬治 | 第五〇四號石油鑛區ニ全部重複ニ付キ試掘願不許可 |
| 新潟縣北蒲原郡津村地內 | 石油 | 三八、〇〇〇 坪 | 秋田市保戸野淸助町 廣田萬治 | 第五〇四號石油鑛區ニ全部重複ニ付キ試掘願不許可 |
| 滋賀縣高島郡海津村地內 | 銀、銅 | 五〇、一〇七 | 京都市大宮通御幸屋町 小林才一郎 | 本願ハ優先出願ニ許可シタル滋賀縣試掘登錄第八十六號銀、銅鑛試掘鑛區ニ全部重複スルニ付キ鑛業法第九條ニ依リ試掘願不許可 |

出願ノ當時秋田縣試掘登錄第五〇四號石油鑛區ニ全部重複ニ付キ試掘願不許可

本願ハ優先出願ニ許可シタル滋賀縣試掘登錄第八十六號銀、銅鑛試掘鑛區ニ全部重複スルニ付キ鑛業法第九條ニ依リ試掘願不許可





| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 山形試登錄第四百五十號 | 最上郡新庄町、萩野村地內 | 金、銀、銅 | 三八、三九丁目 | 東京市麴町區飯田町六 竹三郎外一人 | 三、一四 | 同 |
| 巖手試登錄第八百四十二號 | 下閉伊郡船越村地內 | 銅、鐵 | 四九、八八六 | 巖手縣下閉伊郡山田町 勇治 | 三、一五 | 同 |
| 福島試登錄第六百九十四號 | 東白川郡高野村地內 | 金、銀 | 九三五、七九六 | 福島縣西白河郡金山村 山本乙次郎外二人 | 三、一五 | 同 |
| 愛媛試登錄第五百八十六號 | 西宇和郡三机村地內 | 銅 | 一〇九、三九〇 | 愛媛縣西宇和郡三机村 阿部猪兵衛 | 三、一一 | 同 |
| 廣島試登錄第二百十八號 | 佐伯郡安藝村地內 | 重石 | 四五四、〇七〇 | 山口縣都濃郡久米村 內山一貫外一人 | 三、一一 | 同 |
| 高知試登錄第百七十九號 | 安藝郡馬路村地內 | 銅 | 四〇、五七二 | 高知縣香美郡夜須村 川村益太郎 | 三、一一 | 同 |
| 愛媛試登錄第五百八十七號 | 伊豫郡佐礒谷村地內 | 同 | 三六六、〇一〇 | 松山市大字末廣町二丁目 豊島直行 | 三、一一 | 同 |
| 富山試登錄第八十三號 | 上新川郡大山村地內 | 石炭 | 七四〇、〇〇〇 | 富山縣上新川郡大庄村 又平永原外二人 | 三、一三 | 同 |
| 滋賀試登錄第八十六號 | 高島郡海津村地內 | 銀、銅 | 五〇、一〇七 | 香川縣仲多度郡善通寺町 松本仙治 | 三、一四 | 同 |
| 奈良試登錄第百九十七號 | 吉野郡賀名生村地內 | 銅 | 一三三、五六四 | 東京市日本橋區本町 田中銀之助外一人 | 三、一五 | 同 |
| 福井試登錄第百六十二號 | 今立郡味眞野村地內 | 銀、銅、鉛、亞鉛 | 七八八、四二〇 | 福井縣南條郡神山村 橿尾長右衛門外二人 | 三、一六 | 同 |
| 福岡試登錄第五百十五號 | 三池郡三池町、石炭村地內 | 石炭 | 四〇二、〇〇〇 | 福岡縣田川郡添田村 熊堤藏內 | 三、一一 | 同 |
| 福岡試登錄第五百十六號 | 企救郡東谷村地內 | 鐵 | 二八二、四五〇 | 福岡縣京都八幡町 耳助 | 三、一二 | 同 |
| 鹿兒島試登錄第五百二十五號 | 揖宿郡今和泉村地內 | 金、銀 | 一五八、九〇〇 | 宮崎縣西諸縣郡飯野村 黒木重要 | 三、一二 | 同 |
| 山口試登錄第四百四十五號 | 玖珂郡南河內村北河內村地內 | 金、銀、鉛、亞石砒 | 七二、五五〇 | 山口縣玖珂郡錦帶橋 山口屋次郎 | 三、一二 | 同 |
| 福岡試登錄第五百十七號 | 嘉穗郡鎭田村、庄內村、田川郡神田村、糸田村地內 | 石炭 | 九〇五、七三五 | 福岡縣福岡市櫛田町 中村 | 三、一三 | 同 |
| 福岡試登錄第五百十八號 | 田川郡勾金村地內 | 金、銀、銅、鐵 | 八〇二六 | 同縣田川郡勾金村 坪根千代松 | 三、一三 | 同 |
| 福岡試登錄第五百十九號 | 宗像郡東鄕村、津屋崎町地內 | 石炭 | 二一四、〇二七 | 廣島市下柳町 桑原悅之介 | 三、一六 | 同 |
| 鹿兒島試登錄第五百二十六號 | 川邊郡西南方村地內 | 金、銀 | 二三二、一六五 | 鹿兒島市山下町 湯前敬介外一人 | 三、一六 | 同 |

試掘不許可





高知縣長岡郡本山町地內　銅　二八九、一三六　愛媛縣西宇和郡川之石村　三、一八　合名會社宇都宮鑛業本部

水出願ノ一部ハ明治四十四年九月二十六日附出願ニ係ル高知縣採掘鑛區第二號銅鑛採掘鑛區ニ重複シ同出願ノ一部ハ既成鑛區ニ重複ニ付キ出願ノ一部ハ鑛業法第九條ニ依リ試掘願不許可

## ○通運

○輕便鐵道臨時停車場名稱變更　高野登山鐵道株式會社ヨリ臨時我孫子停車場ヲ臨時若宮停車場ニ改メタル旨届出テタリ（鐵道院）

○輕便鐵道免許狀下付　一昨二十五日中濃輕便鐵道株式會社發起人前島丈之助外六人ニ對シ輕便鐵道敷設免許狀ヲ下付セリ其起業目論見ノ概要左ノ如シ（鐵道院）

| 鐵道種別 | 軌道幅員 | 線路 | 起點 | 終點 | 延長哩數 | 資本金 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 蒸氣鐵道 | 二呎六吋 | 岐阜縣岐阜市安良田町同縣武儀郡金山町同縣加茂郡太田町 | 同縣武儀郡金山町 | 同縣武儀郡吉田村 | 四十三哩四十五鎖 | 百五十万圓 |

## ○在外公館報告

○獨逸税關本邦製絹小旗、椰子纖維及苞苴織敷物竝不思議花課税　漢堡駐在總領事代理領事官補松永直吉ヨリ本月五日附ヲ以テ本邦製絹小旗、椰子纖維及苞苴織敷物竝ニ不思議花課税ニ關スル獨逸税關告示左ノ如ク譯報アリ（外務省）

告示第一〇三號

| 品名 | 絹製小旗 |
|---|---|
| 一税番 | 五一七 |
| 一税率 | 百基ニ付キ |

（非密地（of Open woven）國定千五百馬
密地（of Other spun warps）國定千二百馬）

出願書ヨリ提出ル絹製小旗ハ各國國旗ヲ擦染セル純絹ニシテ長サ三、五、四ミ及七、五センチメートル、幅夫々二、五、四、〇及五、〇「センチメートル」ノ三種アリ提出見本中最大ノ旗ハ非密織地ニシテ他ノ二種ハ密織地ナリ幅ノ一端ニハ長サ九、一又ハ一二センチメートルノ割竹ノ柄ヲ固著セシメ其端ニハ錐ヲ燒リタル球ヲ取付ケアリ出願者ノ申立ニ依レハ本品ハ全然玩具ニ供セラルヽ云フモ性質上寧ロ他ノ用途例ハ裝飾用等ニ供シ得ラルヽモノナリ仍テ本品ハ玩具若ハ其一部ト看做スヘカラスシテ竹等ト連結セル純絹旗トシテ縫織物同樣ノ課税取扱ヲ受クヘキモノト認ム仍テ織物非密地ナル場合ニハ税率五一七ニ依リ百基ニ付キ千五百馬ヲ課シ密地ナル場合ニハ同税率二依リ百基ニ付キ千二百馬ヲ課スヘキモノトス

| 製産國 | 日本 |
|---|---|
| 千九百十一年十二月五日 | ミッヘン税關 |

告示第一〇七號

| 品名 | 椰子纖維及苞苴織敷物（莚） |
|---|---|
| 一税番 | 五九二 |
| 一税率 | 百基ニ付キ國定二十四馬 |

千九百八年税關公報第二百五十一頁税告示第五百四十四號物品番四八七敷物（莚）ハ税率五九二ニ依リ百基ニ付キ二十四馬ヲ課スルコトニ改メ何トナレハ纖維（椰子纖維）ハ課税上無視スル能ハサルモノニシテ椰子纖維ト連結セル苞苴織物ト同シク椰子纖維ノ連結トシテ見ル（キモノナレハ上記ノ税番ニ依リ課税スヘキモノナレハナリ

（備考）　税番五九三ニ關スル注意

「スパルテリー」ハ麥稈又ハ其他ノ植物性編物材料ヨリ成ル織物（紡績絲ヲ除ク）ニシテ苞苴毛（蔴又ハ尾毛）、紡績絲、金屬絲又ハ硝子絲ヲ貫通シタルモノヲ云フ麥稈又ハ他ノ植物性編物材料ヨリ成ル毛其植物性纖維又ハ植物莖カ寫ニ平行シテ上下ニ交叉スルコトナク馬毛、紡績絲、金屬絲又ハ硝子絲ヲ以テ結ヒ合セアルモノ竝ニ麥稈織物等ノ織物ノ如ク製セラレタルモノ）ニシテ馬毛、紡績絲、金屬絲又ハ硝子絲等ヲ單ニ經絲トシテ使用セラルヽモノハ「スパルテリー」ト見做サス「編物品」トシテ税番五九二ニ依リ課税セラルヘキモノトス

告示第一一二號

| 品名 | 不思議花（寄屬） |
|---|---|
| 一税番 | 六七二 |
| 一税率 | 百基ニ付キ二十四馬 |

本品ハ種々ナル色紙ヲ特種ノ形ニ切リ厚紙ノ間ニ貼リ付ケ手風琴ノ如ク伸張シ得ル樣ニ製セルモノニシテ厚紙ニ附著セル把柄ニ依リテ開カレ各種ノ球狀及花形ヲ構成シ纖テ之ヲ振トキハ各種ノ形ニ變シ種々ノ色模樣ヲ表ハスモノナリ本品ハ主ニ大人ノ諸遊用ニ供セラルヽモノニシテ小兒用玩具トシテ取扱フヘカラサルモノナリ仍テ本品ノ特質上竹藤ト連結セル紙及厚紙製品ニシテ別號ニ揭ケラレサルモノトシテ課税スヘキモノナリ

| 一製産國 | 日本 |
|---|---|
| 千九百十一年十二月一日 | エルフルト税關 |

## ○在外公館報告

○新嘉坡鼠ペスト週報　在新嘉坡帝國領事館ヨリノ鼠ペスト患者週報左ノ如シ（本月二十日「官報」外務省）

| 地名 | 期間 | 新患者 | 死者 | 全治 | 本年初發以來累計 患者 | 死者 | 全治 | 現在 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 新嘉坡 | 自二月十七日至三月四日 | 一 | 不詳 | 不詳 | 一七 | 不詳 | 不詳 | 不詳 |

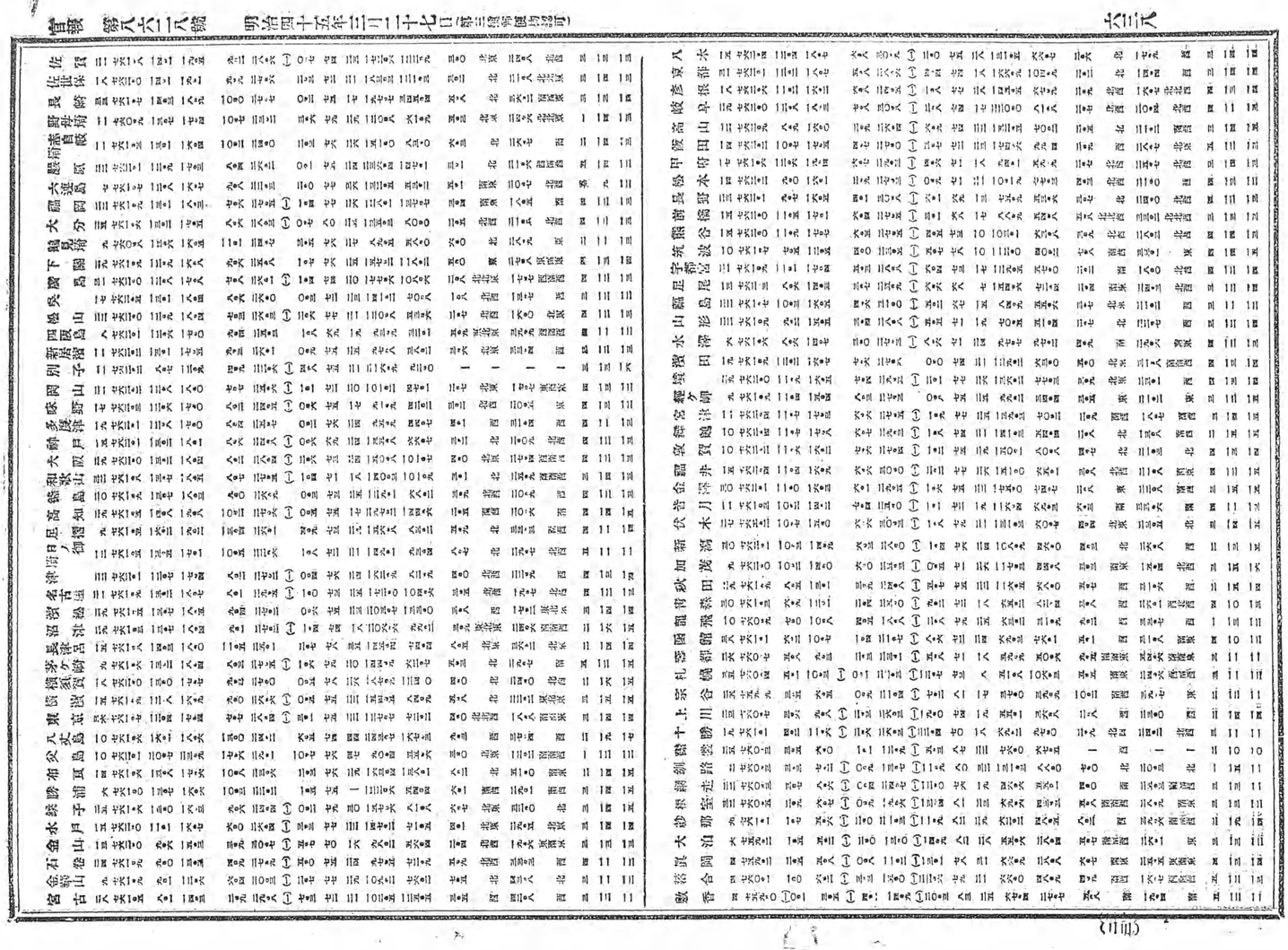
## ○觀象

○四月ノ氣候　中央氣象臺ニ於テ調査シタル各測候所累年觀測成績左ノ如シ（文部省）

| 測候所名 | 觀測年數 | 氣壓 平均 | 氣壓 極高 | 氣壓 極低 | 溫度 平均 | 溫度 平均最高 | 溫度 平均最低 | 溫度 最小 | 降水 總量 | 降水 最大日量 | 風 最多方向 | 風 最大速度 | 風 同上方向 | 天氣日數 快晴 | 天氣日數 降水 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 根室 | 五 | 七五九、九 | 七六八 | 七四九 | 三、八 | 七、八 | 〇、一 | 一、五 | 五、四 | 一四、〇 | 北東 | 一四、〇 | 北東 | 三 | 六 |
| 寶 | 一 | 七六〇、〇 | 七六〇 | 七六〇 | 三、九 | 七、九 | 〇、一 | 一、九 | 三、五 | 三、五 | 北東 | 三、五 | 北東 | 〇 | 六 |
| 寶 | 一 | 七六〇、〇 | 七六〇 | 七六〇 | 三、九 | 七、九 | 〇、一 | 一、九 | 三、五 | 三、五 | 北東 | 三、五 | 北東 | 〇 | 六 |
| 雨 | 一 | 七五九、五 | 七五九 | 七五九 | 三、五 | 七、六 | 〇、一 | 一、七 | 九、七 | 一〇、六 | 北東 | 一〇、六 | 北東 | 〇 | 七 |
| 澎湖島 | 一 | 七六〇、〇 | 七六〇 | 七六〇 | 二三、五 | 二四、五 | 二二、六 | 一九、六 | 二三、六 | 二四、四 | 北東 | 二四、四 | 北東 | 二 | 九 |
| 臺中 | 一 | 七六〇、〇 | 七六〇 | 七六〇 | 二三、四 | 二四、六 | 二二、三 | 一八、三 | 二三、六 | 二四、四 | 北東 | 二四、四 | 北東 | 二 | 九 |
| 臺北 | 一 | 七五九、五 | 七六〇 | 七五九 | 一七、四 | 二一、六 | 一四、二 | 一一、二 | 二一、五 | 二二、二 | 北 | 二二、二 | 北 | 一 | 一〇 |
| 基隆 | 一 | 七五九、五 | 七六〇 | 七五九 | 一七、四 | 二一、六 | 一四、二 | 一一、二 | 二一、五 | 二二、二 | 北 | 二二、二 | 北 | 一 | 一〇 |
| 石垣島 | 一 | 七五九、〇 | 七六〇 | 七五八 | 二三、六 | 二六、八 | 二一、〇 | 一八、〇 | 二一、五 | 二二、二 | 北東 | 二二、二 | 北東 | 一 | 一〇 |
| 那覇 | 一 | 七五九、〇 | 七六〇 | 七五八 | 二三、六 | 二六、八 | 二一、〇 | 一八、〇 | 二一、五 | 二二、二 | 北東 | 二二、二 | 北東 | 一 | 一〇 |
| 名瀨 | 一 | 七五九、〇 | 七六〇 | 七五八 | 二三、六 | 二六、八 | 二一、〇 | 一八、〇 | 二一、五 | 二二、二 | 北東 | 二二、二 | 北東 | 一 | 一〇 |
| 佐多岬 | 一 | 七五九、〇 | 七六〇 | 七五八 | 二〇、〇 | 二三、六 | 一八、〇 | 一五、〇 | 二一、五 | 二二、二 | 南 | 二二、二 | 南 | 一 | 一〇 |
| 鹿兒島 | 一 | 七五九、〇 | 七六〇 | 七五八 | 一九、〇 | 二二、〇 | 一七、〇 | 一四、〇 | 二一、五 | 二二、二 | 南 | 二二、二 | 南 | 一 | 一〇 |
| 宮崎 | 一 | 七五九、〇 | 七六〇 | 七五八 | 一九、〇 | 二二、〇 | 一七、〇 | 一四、〇 | 二一、五 | 二二、二 | 南 | 二二、二 | 南 | 一 | 一〇 |
| 牛深 | 一 | 七五九、〇 | 七六〇 | 七五八 | 一九、〇 | 二二、〇 | 一七、〇 | 一四、〇 | 二一、五 | 二二、二 | 南 | 二二、二 | 南 | 一 | 一〇 |
| 熊本 | 一 | 七五九、〇 | 七六〇 | 七五八 | 一九、〇 | 二二、〇 | 一七、〇 | 一四、〇 | 二一、五 | 二二、二 | 南 | 二二、二 | 南 | 一 | 一〇 |



官報 8628 号



第86128号　本文

○地震　宮古外二箇所ノ地震報告左ノ如シ

| | | | |
|---|---|---|---|
| 宮古 | 三月十八日 | 午後六時五十二分零秒 | 微（感覺ナシ） |
| 同 | 同二十一日 | 午後三時三分五十秒 | 微、性質急、地鳴アリ |
| 水戸 | 同 | 午後七時五十七分二十秒 | 微、性質急、地鳴アリ |
| 同 | 同二十二日 | 午前九時十五分 | 微（感覺ナシ） |
| 宮古 | 同 | 午後一時四十一分十六秒 | 微、性質緩 |
| 水戸 | 同二十三日 | 午後六時四十三分二十秒 | 微（感覺ナシ）（以上中央氣象臺） |

## ○土地收用公告

左ノ事業ハ土地收用法ニ依リ土地ヲ收用スルコトヲ得ルモノト認定ス

起業者　鐵道院
事業ノ種類　停車場擴張
起業地　東京府北豐島郡板橋町、巢鴨村、瀧野川村地內

右公告ス

明治四十五年三月二十七日　內閣總理大臣　侯爵西園寺公望

左ノ事業ハ土地收用法ニ依リ土地ヲ收用スルコトヲ得ルモノト認定ス

起業者　東京府東京市
事業ノ種類　軌道敷設
起業地　東京府東京市深川區富岡門前町地內

右公告ス

明治四十五年三月二十七日　內閣總理大臣　侯爵西園寺公望

左ノ事業ハ土地收用法ニ依リ土地ヲ收用スルコトヲ得ルモノト認定ス

起業者　京都府
事業ノ種類　道路擴築
起業地　京都府京都市下京區三条通河原町東入中島町、三条通大橋東詰大橋町、三条通大橋東へ入五町目西海子町、三条通大橋東へ六町目分水町、三条通大橋東へ七町目南側今小路町、今小路北側大井手町、三条通白川橋東入五軒町、五軒町白川橋東入二町目西町地內

右公告ス

明治四十五年三月二十七日　內閣總理大臣　侯爵西園寺公望

左ノ事業ハ土地收用法ニ依リ土地ヲ收用スルコトヲ得ルモノト認定ス

起業者　京都府京都市
事業ノ種類　道路擴築竝軌道敷設
起業地　京都府京都市下京區三条通河原町東入中島町、三条通大橋東詰大橋町、三条通大橋東へ入五町目西海子町、三条通大橋東へ六町目分水町、三条通大橋東へ七町目南側今小路町、今小路北側大井手町、三条通白川橋東入五軒町、五軒町白川橋東入二町目西町地內

右公告ス

明治四十五年三月二十七日　內閣總理大臣　侯爵西園寺公望

左ノ事業ハ土地收用法ニ依リ土地ヲ收用スルコトヲ得ルモノト認定ス

起業者　京都府京都市
事業ノ種類　輕便鐵道敷設
起業地　京都府京都市下京區清水寺門前松原通寧坂清水四丁目、清水寺門前廣道行當リ清水五丁目、寶福寺門前小島町、五条若宮八幡裏梅林町、五条橋東但大谷前北入遊行前町地內

右公告ス

明治四十五年三月二十七日　內閣總理大臣　侯爵西園寺公望

左ノ事業ハ土地收用法ニ依リ土地ヲ收用スルコトヲ得ルモノト認定ス

起業者　鐵道院
事業ノ種類　停車場擴張
起業地　東京府北豐島郡板橋町、巢鴨村、瀧野川村地內

右公告ス

明治四十五年三月二十七日　內閣總理大臣　侯爵西園寺公望

左ノ事業ハ土地收用法ニ依リ土地ヲ收用スルコトヲ得ルモノト認定ス

起業者　東京府東京市
事業ノ種類　軌道敷設
起業地　東京府東京市深川區富岡門前町地內

右公告ス

明治四十五年三月二十七日　內閣總理大臣　侯爵西園寺公望

左ノ事業ハ土地收用法ニ依リ土地ヲ收用スルコトヲ得ルモノト認定ス

起業者　京都府
事業ノ種類　道路擴築
起業地　京都府京都市下京區三条通河原町東入中島町、三条通大橋東詰大橋町、三条通大橋東へ入五町目西海子町、三条通大橋東へ六町目分水町、三条通大橋東へ七町目南側今小路町、今小路北側大井手町、三条通白川橋東入五軒町、五軒町白川橋東入二町目西町地內

右公告ス

明治四十五年三月二十七日　內閣總理大臣　侯爵西園寺公望

左ノ事業ハ土地收用法ニ依リ土地ヲ收用スルコトヲ得ルモノト認定ス

起業者　京都府京都市
事業ノ種類　輕便鐵道敷設
起業地　京都府京都市下京區清水寺門前松原通寧坂清水四丁目、清水寺門前廣道行當リ清水五丁目、寶福寺門前小島町、五条若宮八幡裏梅林町、五条橋東但大谷前北入遊行前町地內

右公告ス

明治四十五年三月二十七日　內閣總理大臣　侯爵西園寺公望

左ノ事業ハ土地收用法ニ依リ土地ヲ收用スルコトヲ得ルモノト認定ス

起業者　京都府京都市
事業ノ種類　輕便鐵道敷設
起業地　京都府京都市下京區清水寺門前松原通寧坂清水四丁目、清水寺門前廣道行當リ清水五丁目、寶福寺門前小島町、五条若宮八幡裏梅林町、五条橋東但大谷前北入遊行前町地內

右公告ス

明治四十五年三月二十七日　內閣總理大臣　侯爵西園寺公望

左ノ事業ハ土地收用法ニ依リ土地ヲ收用スルコトヲ得ルモノト認定ス

起業者　埼玉縣
事業ノ種類　堤防改修竝水路開鑿
起業地　埼玉縣大里郡吉見村地內

右公告ス

明治四十五年三月二十七日　內閣總理大臣　侯爵西園寺公望

左ノ事業ハ土地收用法ニ依リ土地ヲ收用スルコトヲ得ルモノト認定ス

起業者　鳥取縣
事業ノ種類　道路新設
起業地　鳥取縣東伯郡倉吉町地內

右公告ス

明治四十五年三月二十七日　內閣總理大臣　侯爵西園寺公望

左ノ事業ハ土地收用法ニ依リ土地ヲ收用スルコトヲ得ルモノト認定ス

起業者　熊本縣熊本市
事業ノ種類　學校運動場擴張
起業地　熊本縣熊本市地內

右公告ス

明治四十五年三月二十七日　內閣總理大臣　侯爵西園寺公望

左ノ事業ハ土地收用法ニ依リ土地ヲ收用及使用スルコトヲ得ルモノト認定ス

起業者　大分縣大野郡富士緒井路普通水利組合
事業ノ種類　水路開鑿
起業地　大分縣大野郡小富士村、緒方村、直入郡宮砥村、玉來町、入田村地內

右公告ス

明治四十五年三月二十七日　內閣總理大臣　侯爵西園寺公望

左ノ事業ハ土地收用法ニ依リ土地ヲ收用スルコトヲ得ルモノト認定ス

起業者　小田原電氣鐵道株式會社
事業ノ種類　輕便鐵道敷設
起業地　神奈川縣足柄下郡湯本村、溫泉村、宮城野村地內

右公告ス

明治四十五年三月二十七日　內閣總理大臣　侯爵西園寺公望





左ノ事業ハ土地收用法ニ依リ土地ヲ收用スルコトヲ得ルモノト認定ス

起業者　阪堺電氣軌道株式會社
事業ノ種類　軌道敷設
起業地　大阪府堺市中附洲新田、大濱通四丁地內

右公告ス

明治四十五年三月二十七日　內閣總理大臣　侯爵西園寺公望

左ノ事業ハ土地收用法ニ依リ土地竝地上權及土地賃借權ヲ收用スルコトヲ得ルモノト認定ス

起業者　兵庫電氣軌道株式會社
事業ノ種類　軌道敷設
起業地　兵庫縣武庫郡須磨村地內

右公告ス

明治四十五年三月二十七日　內閣總理大臣　侯爵西園寺公望

左ノ事業ハ土地收用法ニ依リ土地ヲ收用スルコトヲ得ルモノト認定ス

起業者　大川輕便鐵道株式會社
事業ノ種類　輕便鐵道敷設
起業地　福岡縣三潴郡大川町、三又村、青木村、城島村、三潴村、大善寺村、安武村、鳥飼村、久留米市地內

右公告ス

明治四十五年三月二十七日　內閣總理大臣　侯爵西園寺公望

## ○電氣事業法準用公告

左ノ事業ハ明治四十四年勅令第二百三十七號ニ依リ電氣事業法ヲ準用スルコトヲ得ルモノト認定ス

事業者　東京市京橋區本八丁堀三丁目一番地中野喜三郎
事業ノ種類　橫濱市水道局臨時事業部第二號隧道工事ノ爲電氣ヲ使用スル事業
事業地　神奈川縣津久井郡三ヶ木村、串川村、又野村、中野村、犬井村地內

右公告ス

明治四十五年三月二十七日　遞信大臣　伯爵林董

## ○廣告

### ○圖書發行

本局編纂

一法令全書　明治四十五年第貳號　全一冊　代價郵稅共金十八錢　但シ郵送ヲ要セサルモノハ金四錢ヲ減ス

右本月二十五日發行本局直賣ノ外左記官報販賣所ニ於テ販賣ス

明治四十五年三月　印刷局

| | |
|---|---|
| 東京府 | 日本橋區通三丁目　丸善株式會社 |
| 同 | 京橋區銀座一丁目　大日本圖書株式會社 |
| 同 | 神田區錦町三丁目　東京堂 |
| 同 | 日本橋區通一丁目　玉手弘遙 |
| 同 | 京橋區銀座四丁目　合資商報會社 |
| 同 | 日本橋區通二丁目　合名會社　永東書店 |
| 同 | 神田區表神保町　早速勝三 |
| 大阪府 | 大阪市西區靭中通一丁目　木村許一郎 |
| 同 | 東區南本町二丁目　石田忠兵衛 |
| 京都府 | 京都市上京區柳馬場通二條下ル　長崎次郎 |
| 同 | 中京區南武平町三丁目　高橋源平 |
| 愛知縣 | 名古屋市中區南武平町三丁目　宇都宮佐々木重兵衛 |
| 三重縣 | 四日市大字富田町 |
| 岐阜縣 | 岐阜市大字富屋町 |
| 福岡縣 | 福岡市中島町 |
| 長崎縣 | 丸邏市大字富屋町 |
| 熊本縣 | 熊本市新町二丁目 |
| 大分縣 | 大分市末廣町二丁目 |
| 宮崎縣 | 宮崎市本町通四番町 |
| 鹿兒島縣 | 金澤市片町 |
| 沖繩縣 | 仙臺市東三番丁 |
| 新潟縣 | |
| 富山縣 | |
| 石川縣 | |
| 福井縣 | |
| 長野縣 | |
| 岐阜縣 | |
| 愛知縣 | |
| 三重縣 | |
| 滋賀縣 | |
| 京都府 | |
| 大阪府 | |
| 兵庫縣 | |
| 和歌山縣 | |
| 鳥取縣 | |
| 島根縣 | |
| 岡山縣 | |
| 廣島縣 | |
| 山口縣 | |
| 香川縣 | |
| 愛媛縣 | |
| 德島縣 | |
| 高知縣 | |
| 福岡縣 | |
| 長崎縣 | |
| 佐賀縣 | |
| 熊本縣 | |
| 大分縣 | |
| 宮崎縣 | |
| 鹿兒島縣 | |
| 沖繩縣 | |
| 新潟縣 | |
| 長野縣 | |
| 石川縣 | |
| 富山縣 | |
| 福井縣 | |
| 兵庫縣 | |
| 島根縣 | |
| 鳥取縣 | |
| 岡山縣 | |
| 廣島縣 | |
| 山口縣 | |
| 愛媛縣 | |
| 德島縣 | |
| 香川縣 | |
| 高知縣 | |
| 福岡縣 | |
| 佐賀縣 | |
| 長崎縣 | |
| 熊本縣 | |
| 大分縣 | |
| 宮崎縣 | |
| 鹿兒島縣 | |
| 沖繩縣 | |
| 北海道 | |
| 宮城縣 | |
| 福島縣 | |
| 岩手縣 | |
| 青森縣 | |
| 秋田縣 | |
| 山形縣 | |

### ○列車運轉時刻

本月二十八日木更津線蘇我姉ヶ崎間運轉營業開始ニ付キ同時ニ千葉姉ヶ崎間列車運轉時刻ヲ左ノ通定ム

但シ詳細ハ關係停車場ニ掲示ス

明治四十五年三月

| 下リ列車 | | 上リ列車 | |
|---|---|---|---|
| 千葉 | 發 | 姉ヶ崎 | 發 |
| 蘇我 | 發 | 同 | 發 |
| 木千葉 | 發 | 同 | 發 |
| 同 | 發 | 同 | 發 |
| 千葉 | 發 | 同 | 發 |

午前六時四十分（姉ヶ崎行）
午前八時五十五分（同右）
午前十一時二十五分（同右）
午後一時五十分（同右）
午後四時二十五分（同右）

| | |
|---|---|
| 午前八時〇分（蘇我行） | |
| 午前十時五分（木千葉行） | |
| 午後十二時四十分（同右） | |
| 午後三時五分（千葉行） | |
| 午後五時五十分（木千葉行） | |

### ○齒科醫籍登錄抹消

齒科醫師法第四條ニ依リ本月五日齒科醫籍登錄ノ抹消（死亡）ヲ爲シタル者左ノ如シ

明治四十五年三月

| 族籍 | 氏名 | 住所 |
|---|---|---|
| 靜岡縣平民 | 佐野貢 | 大分縣平民 |

### ○藥劑師名簿登錄抹消

本月五日藥劑師名簿登錄ノ抹消（本人死亡）ヲ爲シタル者左ノ如シ

明治四十五年三月

| 族籍 | 氏名 | 住所 |
|---|---|---|
| 東京府平民 | 中野復次郎 | 東京府平民 |
| 大分縣平民 | 山本大佑 | 大枝市右衛門 |
| 同 | 同 | 富山縣平民 |
| 同 | 同 | 千葉縣平民 |

内務省　松村和一郎　池澤蜂松

### ○證票無效

明治十七年五月十五日福岡縣士族吉永豐（下付ノ分）
同日大阪府士族緒方拙齋（下付ノ分）
同年四月二十五日岐阜縣平民足立桂哉（下付ノ分）
同日兵庫縣平民岩井政吉（下付ノ分）
同日廣島縣平民高畑周見（下付ノ分）
同日愛媛縣平民深石剛藏（下付ノ分）
同日新潟縣平民藤田陶作（下付ノ分）
同年五月十日高知縣士族西川猛馬（下付ノ分）

第三三三號　醫師免許證一枚
第一一〇六三號　同
第一一〇六三五號　同
第一〇八七四號　同
第一〇八七五號　同
第二〇六八號　同
第二三八號　同

右紛失ニ付キ無效ト

明治四十五年三月

内務省

第十六號　國稅滯納者財產差押證票　兩國橋稅務署在勤稅務署屬小野茂記名ノ分

右紛失ノ旨屆出ニ依リ無效ト

明治四十五年三月

東京稅務監督局



本文 8628 号

## ○入札公告

明治四十五年三月二十七日

海軍造兵廠

一　鋳鉄製品　一式
一　鍛鉄製品　一式
一　銅製品　一式
一　木型　一式
一　鉄材　一式
一　雑品　一式

入札ニ関スル心得ハ明治四十五年二月海軍造兵廠告示第一号ニ依ル

## ○入札公告

明治四十五年三月二十七日

陸軍糧秣支廠

一　精米　一万五千瓩
一　精麦　一万瓩
一　小麦粉　一万瓩
一　大麦粉　一万瓩
一　乾燥野菜　一万瓩
一　乾燥馬鈴薯　一万瓩
一　乾燥葱　一万瓩
一　乾燥大根　一万瓩
一　乾燥人参　一万瓩
一　乾燥牛蒡　一万瓩
一　乾燥蓮根　一万瓩
一　乾燥蕨　一万瓩
一　乾燥椎茸　一万瓩
一　乾燥昆布　一万瓩
一　乾燥若布　一万瓩
一　乾燥海苔　一万瓩
一　乾燥鰹節　一万瓩
一　乾燥鯣　一万瓩
一　乾燥鮭　一万瓩
一　乾燥鰯　一万瓩
一　乾燥鯖　一万瓩
一　乾燥鰈　一万瓩
一　乾燥鱈　一万瓩
一　乾燥鰤　一万瓩
一　乾燥鯛　一万瓩
一　乾燥鰹　一万瓩
一　乾燥鮪　一万瓩
一　乾燥鰒　一万瓩
一　乾燥烏賊　一万瓩
一　乾燥蛸　一万瓩
一　乾燥海鼠　一万瓩
一　乾燥鮑　一万瓩
一　乾燥蛤　一万瓩
一　乾燥蜆　一万瓩
一　乾燥牡蠣　一万瓩
一　乾燥蝦　一万瓩
一　乾燥鰕　一万瓩
一　乾燥蟹　一万瓩
一　乾燥鯨　一万瓩
一　乾燥鯱　一万瓩
一　乾燥鮫　一万瓩
一　乾燥鰐　一万瓩
一　乾燥亀　一万瓩
一　乾燥蛙　一万瓩
一　乾燥蛇　一万瓩
一　乾燥蜥蜴　一万瓩
一　乾燥守宮　一万瓩
一　乾燥蝙蝠　一万瓩
一　乾燥鼠　一万瓩
一　乾燥猫　一万瓩
一　乾燥犬　一万瓩
一　乾燥猿　一万瓩
一　乾燥狐　一万瓩
一　乾燥狸　一万瓩
一　乾燥兎　一万瓩
一　乾燥鹿　一万瓩
一　乾燥猪　一万瓩
一　乾燥牛　一万瓩
一　乾燥馬　一万瓩
一　乾燥羊　一万瓩
一　乾燥山羊　一万瓩
一　乾燥駱駝　一万瓩
一　乾燥象　一万瓩
一　乾燥犀　一万瓩
一　乾燥河馬　一万瓩
一　乾燥麒麟　一万瓩
一　乾燥獅子　一万瓩
一　乾燥虎　一万瓩
一　乾燥豹　一万瓩
一　乾燥熊　一万瓩
一　乾燥狼　一万瓩
一　乾燥狐　一万瓩
一　乾燥狸　一万瓩
一　乾燥兎　一万瓩
一　乾燥鹿　一万瓩
一　乾燥猪　一万瓩
一　乾燥牛　一万瓩
一　乾燥馬　一万瓩
一　乾燥羊　一万瓩
一　乾燥山羊　一万瓩
一　乾燥駱駝　一万瓩
一　乾燥象　一万瓩
一　乾燥犀　一万瓩
一　乾燥河馬　一万瓩
一　乾燥麒麟　一万瓩
一　乾燥獅子　一万瓩
一　乾燥虎　一万瓩
一　乾燥豹　一万瓩
一　乾燥熊　一万瓩
一　乾燥狼　一万瓩

## ○入札公告

明治四十五年三月二十七日

宇品陸軍糧秣支廠

一　精米　一万五千瓩
一　精麦　一万瓩
一　小麦粉　一万瓩
一　大麦粉　一万瓩
一　乾燥野菜　一万瓩
一　乾燥馬鈴薯　一万瓩
一　乾燥葱　一万瓩
一　乾燥大根　一万瓩
一　乾燥人参　一万瓩
一　乾燥牛蒡　一万瓩
一　乾燥蓮根　一万瓩
一　乾燥蕨　一万瓩
一　乾燥椎茸　一万瓩
一　乾燥昆布　一万瓩
一　乾燥若布　一万瓩
一　乾燥海苔　一万瓩
一　乾燥鰹節　一万瓩
一　乾燥鯣　一万瓩
一　乾燥鮭　一万瓩
一　乾燥鰯　一万瓩
一　乾燥鯖　一万瓩
一　乾燥鰈　一万瓩
一　乾燥鱈　一万瓩
一　乾燥鰤　一万瓩
一　乾燥鯛　一万瓩
一　乾燥鰹　一万瓩
一　乾燥鮪　一万瓩
一　乾燥鰒　一万瓩
一　乾燥烏賊　一万瓩
一　乾燥蛸　一万瓩
一　乾燥海鼠　一万瓩
一　乾燥鮑　一万瓩
一　乾燥蛤　一万瓩
一　乾燥蜆　一万瓩
一　乾燥牡蠣　一万瓩
一　乾燥蝦　一万瓩
一　乾燥鰕　一万瓩
一　乾燥蟹　一万瓩
一　乾燥鯨　一万瓩
一　乾燥鯱　一万瓩
一　乾燥鮫　一万瓩
一　乾燥鰐　一万瓩
一　乾燥亀　一万瓩
一　乾燥蛙　一万瓩
一　乾燥蛇　一万瓩
一　乾燥蜥蜴　一万瓩
一　乾燥守宮　一万瓩
一　乾燥蝙蝠　一万瓩
一　乾燥鼠　一万瓩
一　乾燥猫　一万瓩
一　乾燥犬　一万瓩
一　乾燥猿　一万瓩
一　乾燥狐　一万瓩
一　乾燥狸　一万瓩
一　乾燥兎　一万瓩
一　乾燥鹿　一万瓩
一　乾燥猪　一万瓩
一　乾燥牛　一万瓩
一　乾燥馬　一万瓩
一　乾燥羊　一万瓩
一　乾燥山羊　一万瓩
一　乾燥駱駝　一万瓩
一　乾燥象　一万瓩
一　乾燥犀　一万瓩
一　乾燥河馬　一万瓩
一　乾燥麒麟　一万瓩
一　乾燥獅子　一万瓩
一　乾燥虎　一万瓩
一　乾燥豹　一万瓩
一　乾燥熊　一万瓩
一　乾燥狼　一万瓩

## ○入札公告

明治四十五年三月二十七日

帝国製絨所

一　羅紗　一万五千瓩
一　毛布　一万瓩
一　毛糸　一万瓩
一　綿糸　一万瓩
一　麻糸　一万瓩
一　絹糸　一万瓩
一　人絹糸　一万瓩
一　ゴム糸　一万瓩
一　金糸　一万瓩
一　銀糸　一万瓩
一　銅糸　一万瓩
一　鉄糸　一万瓩
一　真鍮糸　一万瓩
一　ニッケル糸　一万瓩
一　アルミニウム糸　一万瓩
一　白金糸　一万瓩
一　パナマ糸　一万瓩
一　ラミー糸　一万瓩
一　ジュート糸　一万瓩
一　カポック糸　一万瓩
一　ココナット糸　一万瓩
一　サイザル麻糸　一万瓩
一　マニラ麻糸　一万瓩
一　ニュージーランド麻糸　一万瓩
一　ボンベイ麻糸　一万瓩
一　ヘンプ糸　一万瓩
一　ジュート糸　一万瓩
一　カポック糸　一万瓩
一　ココナット糸　一万瓩
一　サイザル麻糸　一万瓩
一　マニラ麻糸　一万瓩
一　ニュージーランド麻糸　一万瓩
一　ボンベイ麻糸　一万瓩
一　ヘンプ糸　一万瓩

## ○入札公告

明治四十五年三月二十七日

帝国製麻会社

一　麻糸　一万五千瓩
一　麻布　一万瓩
一　麻袋　一万瓩
一　麻綱　一万瓩
一　麻索　一万瓩
一　麻縄　一万瓩
一　麻紐　一万瓩
一　麻糸　一万瓩
一　麻布　一万瓩
一　麻袋　一万瓩
一　麻綱　一万瓩
一　麻索　一万瓩
一　麻縄　一万瓩
一　麻紐

第8628号　本文

## ○法人登記

## ○産業組合登記

## ○滌治産宣告取消

## ○準禁治産宣告

## ○準禁治産宣告公告中訂正

## ○公示催告

## ○失踪宣告

## ○免換銀行券發行週報







第8628号　本文

## ○株金拂込

| 銀行名 | 日 | 木 | 水 | 火 | 月 |
|---|---|---|---|---|---|
| 朝鮮銀行 | 五五三、八二五、七七七 | 五五三、八二五、七七七 | 五五三、八二五、七七七 | 五五三、八二五、七七七 | 五五三、八二五、七七七 |
| 總貨金及地金 | 六五、〇九二、〇〇〇 | 六五、〇九二、〇〇〇 | 六五、〇九二、〇〇〇 | 六五、〇九二、〇〇〇 | 六五、〇九二、〇〇〇 |
| 計銀幣銅貨 | 八五九、〇四六、〇〇〇 | 八五九、〇四六、〇〇〇 | 八五九、〇四六、〇〇〇 | 八五九、〇四六、〇〇〇 | 八五九、〇四六、〇〇〇 |
| 通所國本他代外貨政府 | 三三、〇〇〇、〇〇〇 | 三三、〇〇〇、〇〇〇 | 三三、〇〇〇、〇〇〇 | 三三、〇〇〇、〇〇〇 | 三三、〇〇〇、〇〇〇 |
| 總貨及地金計銀幣銅貨 | 一二三、九五四、七七七 | 一二三、九五四、七七七 | 一二三、九五四、七七七 | 一二三、九五四、七七七 | 一二三、九五四、七七七 |
| 支店間店派替付預定貨金金 | 一三五、六六七、〇〇〇 | 一三五、六六七、〇〇〇 | 一三五、六六七、〇〇〇 | 一三五、六六七、〇〇〇 | 一三五、六六七、〇〇〇 |
| 總貨及地金計銀幣銅貨 | 二四四、三五五、八八〇 | 二四四、三五五、八八〇 | 二四四、三五五、八八〇 | 二四四、三五五、八八〇 | 二四四、三五五、八八〇 |
| 支店間店派替付預定貨金金 | 一四、七九二、〇〇〇 | 一四、七九二、〇〇〇 | 一四、七九二、〇〇〇 | 一四、七九二、〇〇〇 | 一四、七九二、〇〇〇 |
| 總貨及地金計銀幣銅貨 | 三、〇七〇、四二六、〇〇〇 | 三、〇七〇、四二六、〇〇〇 | 三、〇七〇、四二六、〇〇〇 | 三、〇七〇、四二六、〇〇〇 | 三、〇七〇、四二六、〇〇〇 |
| 支店間店派替付預定貨金金 | 一四、〇〇〇、〇〇〇 | 一四、〇〇〇、〇〇〇 | 一四、〇〇〇、〇〇〇 | 一四、〇〇〇、〇〇〇 | 一四、〇〇〇、〇〇〇 |
| 總貨及地金計銀幣銅貨 | 八五九、〇四六、〇〇〇 | 八五九、〇四六、〇〇〇 | 八五九、〇四六、〇〇〇 | 八五九、〇四六、〇〇〇 | 八五九、〇四六、〇〇〇 |

明治四十五年三月二十六日

## 朝鮮銀行

### 明治四十五年三月二十五日

朝鮮銀行本店ノ外ハ各支店及派出所ニ於テ取扱ヒタル總貨及地金銀幣銅貨ノ總計ヲ掲ク

### ○京釜奉天線運轉時刻

（三二）

# 官報第八千六百二十八號附錄

明治四十五年三月二十七日

## ○廣告

## ○商業登記

株式會社北海道拓殖銀行登記事項中左ノ如ク變更ス

一取締役左者明治四十五年二月十六日重任ス

兵庫縣加古郡高砂町ノ內材木町十六番屋敷
長野縣東筑摩郡松本町大字岡田町百三十六番地　美濃部俊吉
東京市本郷區向ケ岡弥生町三番地　赤羽　雄一
同市赤坂區青山南町六丁目百三番地　馬島　波
同市赤坂區青山南町六丁目百三番地　關　宗喜
同大倉喜八郎同谷七太郎ハ同日重任シ松本恒之助ハ同日監査役ニ就任ス　大倉喜八郎
東京市芝區愛宕町三番地　谷　七太郎
北海道札幌區北二條東三丁目九番地　松本恒之助
三重縣一志郡矢野村四十八番屋敷

合名會社登記簿第十四册第六十五號

一商號　合名會社芦田商會
一本店　東京市京橋區弾左衛門町三番地
一目的　左ノ二項ヲ營ムヲ目的トス
一電燈電話瓦斯ノ取付ケ竝ニ電氣及瓦斯ニ關スル一切ノ工事設計監督請負ヲ爲スコト
一電氣瓦斯及鐵道ニ關スル諸器械ノ附屬品販賣竝ニ仲買業
一設立ノ年月日　明治四十五年二月二十六日
一代表社員ノ氏名　芦田芳藏
一存立ノ時期又ハ解散ノ事由　自明治四十五年二月二十六日至同六十五年二月二十五日二十箇年
一社員ノ氏名住所出資ノ種類及價格　東京市京橋區彌左衛門町三番地　芦田　芳藏
金一千圓　芦田　万藏
金二千圓　大阪市東區上錦屋町百十二番地

合名會社登記簿第十四册第六十六號

一商號　合名會社博信社
一本店　東京市神田區表猿樂町二十四番地
一支店　大阪市北區若松町三十番地
一目的　書籍諸雜誌ノ發行其他一般ノ出版ノ業ヲ營ム
一設立ノ年月日　明治四十五年二月二十八日
一社員ノ氏名住所出資ノ種類及價格　東京市牛込區辨天町四番地　佐藤　純吉
金三千八百圓　同市本郷區弓町一丁目二十五番地　平野　熊藏
金一千二百圓

合資會社三電商會登記事項中左ノ如ク變更ス

一明治四十五年二月二十八日本店ヲ左ノ所ヘ移轉ス
本店　東京市芝區愛宕下町三丁目二番地
一社員前田文五郎ハ明治四十五年二月二十八日其住所ヲ東京市芝區愛宕下町三丁目二番地ニ移轉セリ
一社員前出金次郎ハ同日更ニ金二千圓ヲ出資額ヲ左ノ如ク變更
金四千五百圓　前田金次郎

合資會社登記簿第四册第二百二十七號

一商號　東京倶樂會社
一本店　東京市日本橋區箱崎町四丁目一番地
一目的　不動產ノ所有賣買交換寄託貸借及其仲介
有價證券ノ賣買交換寄託及其仲介各種債券蒐集ノ引受
商行爲ノ代理及各種仲介
一般財產管理整理改良及其處分ニ關スル引受
協定セラレタル方法ニ依リ資利殖ノ引受
農工業ノ經營
物品供給及各種ノ請負
土木竝ニ建築ノ工事請負設計監督移轉修飾及其周旋

磐城炭礦株式會社登記事項中左ノ如ク變更ス

一明治四十年十月十五日登記シタル社債殘額金十一万圓ノ內金二万圓ヲ明治四十五年二月二十四日償還シ社債殘額金九万圓ト變更ス

合資會社三商會登記事項中左ノ如ク變更ス

一明治四十五年二月二十七日目的ノ左ノ如ク更ス
一　不動產ノ所有賣買交換寄託貸借及其仲介
二　有價證券ノ賣買交換寄託及其仲介各種債券蒐集ノ引受
三　商行爲ノ代理及各種仲介
四　一般財產管理整理改良及其處分ニ關スル引受
五　協定セラレタル方法ニ依リ資利殖ノ引受
六　農工業ノ經營
七　物品供給及各種ノ請負
八　土木竝ニ建築ノ工事請負設計監督移轉修飾及其周旋



付録

許 86128 号

第 8628 号　付録

## ○法人登記

### 岩内區裁判所

右明治四十五年三月二十七日登記

### 水戸區裁判所

明治四十五年三月十九日登記

### 栃木區裁判所

右明治四十五年三月十九日登記

### 新潟區裁判所

右明治四十五年三月十九日登記

### 甲府區裁判所

右明治四十五年三月十八日登記

### 新潟區裁判所村松出張所

右明治四十五年三月十九日登記

### 札幌區裁判所

右明治四十五年三月十八日登記

## ○産業組合登記

### 東京區裁判所

右明治四十五年三月十七日登記

### 岩手區裁判所

右明治四十五年三月十八日登記

### 静岡區裁判所

右明治四十五年三月十八日登記

### 静岡區裁判所江尻出張所

右明治四十五年三月十八日登記

### 静岡區裁判所

右明治四十五年三月十八日登記

### 静岡區裁判所

右明治四十五年三月十八日登記

### 静岡區裁判

産業組合設立登記第一號

(一)名稱　有限資任飯野坂信用購買組合

(二)(三)組織　有限責任

事務所　宮城縣名取郡舘腰村飯野坂六十二番地

(四)目的　(一)組合ニ產業ニ必要ナル資金ヲ貸付シ及貯金ノ便宜ヲ得セシム

(二)產業ニ必要ナル物品ヲ購買シテ之ヲ組合員ニ賣却ス

(五)設立許可ノ年月日　明治四十五年二月十二日

(六)(七)出資一口ノ金額　金二十圓也

出資拂込ノ方法　第一回拂込ニ充ツルモノヽ外出資金口ニ付每月末金三十錢以上又ハ每年一月末及七月末金二圓以上宛又ハ第一回拂込後五箇年以內ニ全額ヲ拂込ムコト

(八)理事ノ氏名住所　宮城縣名取郡舘腰村飯野坂五十一番地　桑島源兵衛

宮城縣名取郡舘腰村飯野坂七十八番地　高橋九兵衛

宮城縣名取郡舘腰村飯野坂六十二番地　高橋譚助

(九)監事ノ氏名住所　宮城縣名取郡舘腰村飯野坂七十七番地　高橋寬

宮城縣名取郡舘腰村飯野坂二十一番地　佐々木善治

(十)存立ノ時期　設立許可ノヨリ滿五十箇年

右明治四十五年二月二十七日登記

仙臺區裁判所岩沼出張所

無限責任理事下光庄六郎光之助岩本嘉吉監事伊藤二太郎根上辰藏組合登記事項中左ノ如ク變更ス

一理事下光庄六郎光之助岩本嘉吉　監事伊藤二太郎再選重任更ニ左記ノ者就任ス

隨時總會ニ於テ理事額光之助岩本嘉吉　後志國岩內郡前田村大字梨野鰊納村字山崎番外地　堀　岩藏

理事　監事　同國同郡同村大字同村字同番外地　石井　寅藏

監事　同國同郡同村大字前田村字學田三百三十七番三　村井岩次郎

右明治四十五年二月二十六日登記　岩內區裁判所

## ○漁業組合登記

漁業組合聯合會設立登記　名稱轉多郡漁業組合聯合會　事務所轉多郡中村町中村千五百四十六番ノ地

目的漁業組合相互ノ利益ヲ增進スル爲共同ノ施設ヲ爲ス　設立許可ノ年月日明治四十五年一月二十七日

加入各組合ノ名稱佐賀浦伊田浦上川口浦入野村浮鞭田ノ浦下田下ノ加江浦布浦大岐伊布利浦窪津大谷津呂浦伊佐浦松尾浦大濱浦中ノ濱清水浦越浦婆老浦三崎浦下益野下川口浦貝ノ川浦大津尾浦歷ノ浦間防形西泊才角小才角母島浦弘瀨浦鵜來島古浦目柏島浦一切泊浦浦ケ迫浦ノ各漁業組合　理事ノ氏名住所高知縣幡多郡伊豆山村布五十四番屋數矢野川長辰　同縣同郡清水村清水五百二十六番地二柳川信虎同縣同郡上灘村窪津三十三番屋數龜谷嚴同縣同郡白田川村上川口七十一番屋數林彌七同縣同郡奧內村箱島百九十七番地山間則重　監事ノ氏名住所高知縣幡多郡下川口村下川口百四十一番屋數島井丈夫同縣同郡下田村下田千五百十二番地今村勇太郎同縣同郡沖ノ島村弘瀨百三十番地島原歲威　存立時期無期限

右明治四十五年二月二十二日登記　中村(高知地方裁判所管內)區裁判所

漁業組合設立　名稱米ケ脇漁業組合　事務所福井縣坂井郡雄島村米ケ脇七號十二番地　目的漁業權ヲ享有及行使シ組合員共同ノ利益ヲ圖ルヲ以テ目的トス　設立許可ノ年月日明治三十七年三月一日　地區福井縣坂井郡雄島村米ケ脇　理事ノ氏名住所福井縣坂井郡雄島村米ケ脇七號十二番地中村吉五郎　監事ノ氏名住所福井縣坂井郡雄島村米ケ脇五號十四番地新田伊之助

右明治四十五年二月二十七日登記　三國區裁判所

名稱和久浦漁業組合　事務所鹽浦郡神玉村大字神田上第百五十八番地　目的漁業權及入漁權ヲ取得シ又ハ漁業權ノ貸付ヲ受ケ組合員ノ漁業ニ關スル共同ノ施設ヲナスヲ以テ目的トス　設立許可ノ年月日明治三十六年六月三十日　地區福井縣坂井郡雄島村崎二十九號二十三番地大寒良雄　監事ノ氏名住所福井縣坂井郡雄島村崎二十九號二十三番地濱野新四郎

右明治四十五年二月二十七日登記　三國區裁判所

漁業組合設立ノ登記　一名稱　宅野村漁業組合　二事務所　島根縣邇摩郡宅野村四十番地　三目的本組合ハ漁業權ヲ享有及行使シ組合員共同ノ利益ヲ圖ルヲ以テ目的トス　四設立許可ノ年月日　明治四十四年三月三十一日　五地區本組合ノ地區ハ島根縣邇摩郡宅野村ノ區域ニ依ル　六理事ノ氏名住所　島根縣邇摩郡宅野村百六十五番地松田善二郎　同所五十二番地松本友吉　七監事ノ氏名住所島根縣邇摩郡宅野村五十九番地大門照市　同所七十二番地大門勅太郎　同所六十五番地高野治郎吉

右明治四十五年二月二十四日登記　大森區裁判所五十猛出張所

漁業組合設立登記　一名稱　片上漁業組合　二事務所　岡山縣和氣郡片上町大字西片上百四十九番地　三目的本組合ハ漁業權及入漁權ヲ取得シ又ハ漁業權ノ貸付ヲ受ケ組合員ノ漁業ニ關スル共同ノ施設ヲ爲スヲ目的トス　四設立許可ノ年月日　明治三十六年四月二十八日　五地區　岡山縣和氣郡片上町ノ區域ニ依ル　六理事ノ氏名住所　岡山縣和氣郡片上町大字西片上千三百八十一番地　中村光次郎　岡山縣和氣郡片上町大字西片上千三百三十番地　吉延善五郎　同縣同郡同町大字千三百七十九番地　木下健次郎　同縣同郡同町大字東片上二千六百七番地第一　神田庄太郎　同縣同郡同町大字西片上千三百八十九番地　生田　竹三　七監事ノ氏名住所　定メナシ　八存立時期　設立許可ノヨリ滿五十箇年

右明治四十五年二月二十六日登記　片上區裁判所

漁業組合設立登記　一名稱轉多郡漁業組合聯合會　二事務所轉多郡中村町中村千五百四十六番ノ地　三目的漁業組合相互ノ利益ヲ增進スル爲共同ノ施設ヲ爲ス　設立許可ノ年月日明治四十五年一月二十七日　加入各組合ノ名稱佐賀浦伊田浦上川口浦入野村浮鞭田ノ浦下田下ノ加江浦布浦大岐伊布利浦窪津大谷津呂浦伊佐浦松尾浦大濱浦中ノ濱清水浦越浦婆老浦三崎浦下益野下川口浦貝ノ川浦大津尾浦歷ノ浦間防形西泊才角小才角母島浦弘瀨浦鵜來島古浦目柏島浦一切泊浦浦ケ迫浦ノ各漁業組合　理事ノ氏名住所高知縣幡多郡伊豆山村布五十四番屋數矢野川長辰　同縣同郡清水村清水五百二十六番地二柳川信虎同縣同郡上灘村窪津三十三番屋數龜谷嚴同縣同郡白田川村上川口七十一番屋數林彌七同縣同郡奧內村箱島百九十七番地山間則重　監事ノ氏名住所高知縣幡多郡下川口村下川口百四十一番屋數島井丈夫同縣同郡下田村下田千五百十二番地今村勇太郎同縣同郡沖ノ島村弘瀨百三十番地島原歲威　存立時期無期限

右明治四十五年二月二十二日登記　中村(高知地方裁判所管內)區裁判所

漁業組合登記原簿第一冊登記第二號　名稱米ケ脇漁業組合　事務所福井縣坂井郡雄島村米ケ脇七號十二番地　目的漁業權及入漁權ヲ取得シ又ハ漁業權ノ貸付ヲ受ケ組合員ノ漁業ニ關スル共同ノ施設ヲ爲スヲ以テ目的トス　設立許可ノ年月日明治三十六年五月二十九日　地區上北郡橫濱村ノ區域ニ依ル　理事ノ氏名住所、上北郡橫濱村四十九番戶內一號杉山庄作　監事ノ氏名住所、上北郡橫濱村三十番戶白瀧福三　同所字橫濱三十六番地大關平八　存立時期ナシ

右明治四十五年二月二十八日登記　野邊地區裁判所



許可 8628 号